連合

RENGO

弁理士連合クラブ会報

No.29
2019

目　次

巻　頭　言

弁理士連合クラブ幹事長　鈴木　知 …… 2

ご　挨　拶

日本弁理士会会長　渡邉　敬介 …… 4
西日本弁理士クラブ幹事長　永田　元昭 …… 6
弁理士同友会幹事長　高田　大輔 …… 7
弁理士クラブ幹事長　中川　裕幸 …… 8
日本弁理士会副会長　黒田　勇治 …… 10
日本弁理士会副会長　田辺　恵 …… 12

会 務 報 告

弁理士連合クラブ副幹事長　菊池　徹 …… 14
弁理士連合クラブ副幹事長　関　昌充 …… 15
弁理士連合クラブ副幹事長　奥川　勝利 …… 16
平成30年度弁理士連合クラブのあゆみ …… 18
総務委員会 …… 20
政策委員会 …… 22
企画委員会 …… 24
研修委員会 …… 26

親睦会報告

第28回連合旅行会・ゴルフ大会 …… 27

資　　料

平成30年度弁理士連合クラブ役員 …… 32
弁理士連合クラブ歴代役員 …… 34
弁理士連合クラブ会則 …… 56
慶弔規則 …… 59
「特別寄付金」を求めるときの運用基準 …… 60

編 集 後 記 …… 62

表紙「題字」山川　政樹　　「写真」－松島「福浦橋（出会い橋）」－　小田原　敬一

困難を越えての絆

弁理士連合クラブ幹事長
鈴木　知

機関誌「連合」No.29の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

平成30年度、弁理士連合クラブは、これまでの事業を引き継ぎ、「弁理士連合クラブの活動の充実」、「日本弁理士会への強力な支援」、並びに「日本弁理士会の支援のための三派体制の確立」を活動目標に掲げて活動しました。

「弁理士連合クラブの活動の充実」は、第１に、弁理士同友会と弁理士クラブとの緊密な連携関係を継続させ、弁理士連合クラブの活動の基盤をさらに安定させ、これにより当クラブ組織を強固にして、さらなる発展を企図するものです。今年は、後述しますが、平成31年度日本弁理士会役員選挙における活動経緯において、両単位クラブの幹事長及び執行部と緊密な連絡を取り合い、足並みを揃えて協調を保った行動を行い、難しい局面を共に乗り越えて、強力な連携関係を構築することができました。第２に、親睦及び広報活動については、企画委員会の強力な支援を得て、震災復興支援を心に留めた石巻訪問を組み入れた仙台松島海岸での旅行会と、三派によるゴルフ大会を、円滑かつ盛大に開催することができました。加えまして、現在、企画委員会により、例年通り、機関誌発行の準備を進めているところです。ホームページのコンテンツ拡充につきましては、今年度は見送っております。第３に、研修事業ですが、旅行会におきまして、茜ヶ久保先生を講師にお招きし、昨今法改正が頻繁な意匠法関係につきまして、大変有意義な研修を実施することができました。他方で、両単位クラブ間で相互に乗り入れる形で、複数回にわたり研修会が開催されておりますので、こちらの方にも是非ご参加いただければと思います。第４に、平成31年度日本弁理士会役員選挙への対応ですが、三派協力に暗い影を落とす事態が発生し、大変遺憾ではありますが、全員当選を果たすことができませんでした。弁理士連合クラブは、政策をテーマとして争う会長選挙につきましては、真っ直ぐに突き進む姿勢を貫く一方で、三派で日本弁理士会の会務活動を支える理念を誠実かつ真摯に全う致します。今回の事態への対処に際しましては、弁理士同友会の髙田幹事長と弁理士クラブの中川幹事長は、各会派を率いつつ、足並みを揃えて、そして当クラブも歩調を合わせ、前向きに歩む姿勢を一時も崩すことなく、貫徹したものであり、その意味で、当クラブの強い結束が実証されたものと考えています。両幹事長が発揮された指導力と協調性に対し、深い尊敬の念を抱いております。

「日本弁理士会への強力な協力支援」は、弁理士同友会及び弁理士クラブから多数かつ優秀な会員をご推薦いただき、例年と遜色のない人的支援を行うことができました。また、日本弁理士会執行部より、数回に亘り、議案説明会が開催され、常議員会議案並びに総会議案につき、伊賀誠司政策委員長の下、活発に検討していただきました。

「日本弁理士会の支援のための三派体制の確立」

は、今年度初頭から、幹事長相互間で直接的にかつ風通しよく、いろいろな面で対話をして参りました。西日本弁理士クラブの旅行会が豪雨災害のために中止となりましたが、日本弁理士クラブ及び当クラブの旅行会でも、活発に交流しました。上述しましたが、役員選挙で問題はありましたが、当クラブは、会派による日本弁理士会支援の理念を、ぶれることなく堅持し、その理念の上で、幹事長レベルの間での途切れることのない関係を維持できたことで、次年度へつなぐ三派体制を保持できました。

最後になりましたが、平成30年度の副幹事長の役職を十分に果たしていただきました、菊池徹先生、関昌充先生、奥川勝利先生、そしてまた、各委員会活動に携わっていただいた多くの委員の先生方に、心より感謝申し上げます。皆様のご協力をいただけたからこそ、平成30年度の当クラブの活動が実りあるものとなりました。次年度は、塩野谷英城幹事長の下で、弁理士連合クラブがさらなる発展を遂げることを祈念しております。

主要な事業の１年目の成果と２年目の展望

日本弁理士会会長
渡邉　敬介

任期２年目である本年度の主要な事業は、基本的には前年度の事業の継続ですが、１年目の経験から、必要な手直しや新たな工夫を加えながら進めております。また、本年度は、昨年度から取り組んできた事業の総仕上げの時期でもあります。そこで、主要な事業についての１年目の成果と２年目の展望についてご紹介させていただきます。

（1）知財広め隊

知財広め隊は、これまで知財にあまり関心がなかった中小企業を主な対象とし、知財の有用性を分かりやすく伝えるセミナーと、参加企業と地元の弁理士の交流会とをセットにしたイベントです。セミナーで知財の有用性を理解していただいても事業に反映されなければ意味がないので、地元の弁理士と顔なじみになっていただき、相談に行きやすい環境を作りたいとの思いから交流会をセットにしています。昨年度は北海道から沖縄まで全国55カ所で開催しました。

第１回は福島県郡山市で震災復興支援を兼ねて行いました。この郡山での知財広め隊がご縁となって、郡山市とは知財支援協定を締結させていただきました。また、福岡での知財広め隊の開催時に、九州大学に「起業部」というクラブがあることを知ったことがきっかけとなって、本年５月にこの「起業部」の学生を対象として知財広め隊を開催することができました。「起業部」は卒業までに起業することを目標とするクラブで、知財も念頭に置いて起業して頂きたいと思っています。

知財広め隊は、中小企業の意識改革を図ったり中小企業との交流を深めたりすることだけに意義があるのではなく、その準備段階にも大きな意義があります。準備に際しては、地方自治体、各種機関・団体、企業などの地元の組織と連携して、セミナーの題材の選定、会場の設定、集客方法や広告方法などの選択をしていくことになります。協力依頼や情報の収集のための連絡や訪問を繰り返しているうちに、これらの地元の組織とのつながりを作ることができ、この点にも大きな意義があります。

本年度も昨年度と同様に50カ所を目標に実施しています。また、本年度は、特許庁が実施している「巡回特許庁」とコラボすることになり、「巡回特許庁」中の個別セッションの１つとして知財広め隊を開催しています。次年度以降の知財広め隊は、次期会長の意向にもよりますが、日本弁理士会全体としての実施は終了し、希望する支部があれば、現在培っている地元でのつながりを活用した支部単位での実施に移していく予定でいます。

（2）弁理士知財キャラバン

弁理士知財キャラバンは、トライアルを行った初年度を含めて本年度で４年度目になります。この事業は、コンサル業務、特に知財に関するコンサル業務を弁理士業務として定着させることを最終目標として進めております。

弁理士がコンサル業務を行うことについての対外的アピールと必要最小限の人材養成期間は終了したと考えています。これからは裾野を拡大して定着さ

せるための期間であると考えています。

これまでに約160件のコンサルを実施してきました。これまで行ったコンサルの具体的内容は、研修の題材として最適なのですが、守秘義務が課されているため、その様な使い方ができません。また、コンサルの内容も、コンサル先の企業の要望に応じてまちまちであることから、これまでの事例を体系的なマニュアルとしてまとめにくくなっています。

そこで、今期は、弁理士知財キャラバンをリニュアルして、コンサルの成果を会員へ還元しやすくする計画を進めています。また、知財支援協定の締結先からの紹介企業にコンサルを実施することで、支援協定締結先への支援を充実させることも検討しています。

弁理士知財キャラバンについては、その成果を会員へ還元し、会員のコンサル業務への参入を促すことができればその継続意義が向上すると思っています。

（3）広報戦略

昨年度に日本弁理士会の複数年度に跨る広報戦略を策定し、本年度はそれに基づいて広報活動を展開してきました。事前のアンケート調査によると「弁理士」という名前自体の認知度が他士業に比して低いことから、まずは「弁理士」という名前の認知度を上げることを目標にしました。また、ＳＮＳなどによる情報発信力がある20代から30代をターゲットとして、高い二次波及効果が見込める首都圏で展開し、全世代及び全国への波及を目指しました。展開手法は、認知度が低いターゲットでも関心度が高まる広報ビジュアル及びイベントを主軸とし、実施効果の測定がしやすく、計画・実行・評価･改善（ＰＤＣＡ）の効率化に適したＷｅｂを活用した手法をとりました。

本年度の広報活動は、「弁理士」という名前の認知度を３％上昇させることを目標に進めてきました。予定の広報活動が完了した後に行ったアンケート調査の結果によると認知度が3.1％向上しており、第１年度目の目標は達成することができました。

本年度は当初の目標を達成できたことから、昨年度策定された広報戦略に沿った活動を次年度も継続することになると思います。これまで複数年に亘って一貫した戦略の広報を行ったことはありません。また、効果確認を伴う広報戦略を実施たこともありません。日本弁理士会が初めて行う新しい広報戦略が次年度も成功することを期待しております。

本年度は昨年度から行っている事業の総仕上げの年度となります。残る任期を精一杯務めてまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

新しい三派協力体制に向けて

西日本弁理士クラブ幹事長
永田　元昭

平成30年度の西日本弁理士クラブ幹事長を務めました永田元昭です。貴クラブの機関誌の発行に当たり、ご挨拶の機会を賜り、誠に有難うございます。

早いもので１月に幹事長を拝命し、今まで見聞きして来た先輩方の差配を真似ながら、自分なりに１年間一所懸命やってきました。それでも至らぬことばかりで、西弁内はもとより、弁理士連合クラブの年生方にもご心配やご迷惑をお掛けしたこともあろうかと思います。特に７月に予定しておりました旅行会は悪天候により誠に残念な結果となってしまいました。申し訳ありませんでした。この場を借りてお詫び申し上げます。

これ以外にも弁理士連合クラブの年生方、特に鈴木知幹事長には大変お世話になりました。三派幹事長としてお話させて頂く場合は、どうしても私の経験・知見が覚束ないばかりに、ご心配をお掛けすることが多かったように思います。そんな中でも鈴木先生は大変優しくお声掛けくださり、弊会の意を十分に汲んで頂けたと感じております。ともすると乱暴な問い掛けに対しても、私が納得するまで誠心誠意ご対応くださいましたこと、本当に有り難く思っております。

ご存知の通り今年は会長選挙の年でしたが、今年一年幹事長をやってみて、心から感じたのは三派協力体制の重要性でした。貴クラブと日本弁理士クラブ、そして私ども西日本弁理士クラブの三派で一致団結して一人の会長候補を擁立・推薦し、見事、無投票にて当選させました。これはまさしく三派協力体制の賜物であり、会派に属さない個人の暴走を戦わずして退けた結果でした。

一方で副会長の選挙では、貴クラブは苦渋の決断を迫られたと聞いております。しかしこれには非常に思慮深く、誇りと勇気を伴ったまさしく“英断”が下されたと私は認識しております。確かに前例なく、ある意味で無理のある結論だったかも知れませんが、今年だけでなくこれから未来の三派協力体制の在り方も深く考えさせられる、大変意義深いものであったと、心から最大限の賛辞を贈りたいと思います。

これを機に、我々会派が日本弁理士会を支えている自負と共に、新しい形での三派協力体制を構築し、更に盤石な協力関係を築けるよう、微力ながらお力添えさせて頂きたいと思っております。

次年度の小谷昌崇幹事長に良い形で引き継ぎができるよう、最後まで精一杯努めて参りますので、今しばらくお付き合いいただきますようお願い申し上げます。

最後に、貴クラブの益々のご発展を祈念し、ご挨拶とさせて頂きます。

今年を振り返って

弁理士同友会幹事長
高田　大輔

平成30年度弁理士同友会幹事長を拝命しております高田大輔でございます。

本年度の役員定時選挙につき、弁理士クラブ推薦の、副会長１名、監事１名、常議員３名が無事に当選を果たすことができました。当会からも、当会推薦の常議員３名を当選させることができました。当選者の皆様おめでとうございました。しかしながら、副会長候補につきましては立候補を撤回するという、当会にとって非常に残念な結果となってしまいました。このことについて強く責任を感じております。

今年度の選挙の結果に対して、当会会員の意見をまとめ、弁理士連合クラブにて弁理士クラブとの意見交換を行い、弁理士連合クラブを通じて日本弁理士クラブに申し入れを行いました。現時点では申し入れの結果を見ておりませんが、選挙の結果についての問題を次年度に引きずらず、今年で終わりとなることを願う次第です。

ここに至るまでの過程で、当会の立候補撤回の承認のために、急遽の連合臨時総会を開催頂いたこと、選挙の結果に係る当会の意見を纏めるまでにやや長い時間お待ち頂いたこと、日本弁理士クラブへの申し入れの前における、連合での打ち合わせにおいて、当会の考えを受け入れて頂いたこと、日本弁理士クラブへの申し入れの場において、冷静にご対応頂けたこと、など、鈴木知幹事長をはじめとする弁理士連合クラブの関係者の皆様、中川裕幸幹事長をはじめとする弁理士クラブの関係者の皆様は、我慢強く、献身的に当会にお付き合い下さいました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、弁理士連合クラブに係る活動を頂いた当会会員の皆様にもこの場をお借りして御礼申し上げます。

本年度のここまでの活動を通じて、弁理士連合クラブの存在、弁理士連合クラブを通じた弁理士クラブとの協力関係が非常に重要であることを改めて認識致しました。今後も、この協力体制を強固なものとして、共に歩んでいくことを願う次第です。

以上

苦労有るも
密に意見交換出来た年度でした

弁理士クラブ幹事長
中川　裕幸

平成30年度弁理士クラブ幹事長を務めました中川裕幸です。機関誌「連合」の発刊に際し、一言ご挨拶申し上げます。

鈴木知幹事長をはじめ、今年度、弁理士連合クラブの執行部でご活躍された先生方には、一年間の活動、本当にお疲れ様でした。心より感謝いたします。

特に、今年秋に行われた次年度役員選挙において、弁理士連合クラブを共に支える友党、弁理士同友会になされた他会派からの働きかけは、我々弁理士クラブにとっても全く納得できないものがあり、単に会派間の問題にとどまらず、日本弁理士会のこれからの活動にも影響を与えかねない大きな問題でした。突然に襲われた津波のような大きな波のなかで、弁理士連合クラブの執行部、特に鈴木知幹事長は、相手方に強く抗議を行いながら、同時に、日本弁理士会を支えて行くという、たいへん難しい舵取りをしていただきました。ご苦労如何ばかりであったかと想像いたします。

今回の出来事は、今後に影響が残るかもしれません。しかしながら、この出来事は、前向きに考えれば、我々弁理士クラブにとっても、また、他方の当事者会派の先生方にとっても、日本弁理士会を支える会派の存在意義を、改めて考えてみる、よいきっかけになったのではないかと思います。日本弁理士会の意思決定は、選挙で選ばれた日本弁理士会の会長や副会長、また常議員が行うものです。しかしながら、日本弁理士会が活動する数々の現場において、実際に活動する会員の多くは、会派を背負っている会員であることを忘れてはなりません。会派全体の一体感がなければ、日本弁理士会が円滑に動けないのは自明の理です。宿題が山積している我々弁理士業界にとって日本弁理士会が立ち止まっている暇はありません。この出来事を糧として、前向きに乗り越えていけることを願って止みません。

また、今回の出来事のおかげで、我々弁理士クラブの執行部は、高田大輔幹事長を始め、弁理士同友会の多くの先生方と意見交換させていただくことができました。その中で、日本弁理士会について、また、会派について、多くのことを気づかせてくれる金言を頂きました。この出来事が無ければ、両会派が、ここまで深く、真剣に意見交換をすることはなかったと思います。私は、このことも前向きに捉えたい、と思っています。弁理士クラブは、今後とも、弁理士同友会さんと共に、弁理士連合クラブとして日本弁理士会を支えていく所存ですので、何卒宜しくお願いいたします。

なお、最後になりましたが、今年、秋に行われた弁理士連合クラブの旅行会では、宮城県松島と石巻を訪ねる機会を与えていただきました。2011年の震災から早くも７年経ちましたが、津波になぎ倒された、かつて住宅地であった広大な更地に立って、今更ながらその被害の大きさを感じてきました。一方で、この更地は将来、公園になるということを聞き、再開した「石ノ森漫画館」を訪ね、「白謙」で笹かまぼこを食べると、その石巻の復興を実感することもできました。時には絶望もありますが、生きている以上、それを抱えながらも前を向かなければならない、ということを心に刻みました。この旅行

会の経験は、今回の出来事とも重なります。弁理士連合クラブの、同旅行会を計画実行していただいた先生方には、有意義な企画を立てていただき、感謝いたします。

日本弁理士会副会長としての一年間を振り返って

日本弁理士会副会長
黒田　勇治

【はじめに】

本年度日本弁理士会副会長を務めさせて戴いております黒田勇治と申します。弁理士連合クラブ会員の皆様におかれましては、日頃より、ご支援、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。副会長に就任当初は目の回るような忙しさでした。任期も余すところ僅かとなり、少しは落ち着きを取り戻しつつありますが、最後まで引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【選挙管理委員会】

選挙日程の決定や選挙の実施要領説明会等の準備、役員選挙の告示、立候補者の受付、質問の取り纏め及び回答、投票の管理等を行います。

【継続研修履修状況管理委員会】

継続研修の履修状況を管理し、継続研修の未履修者に対する履修状況の調査や受講勧告等を行います。

【弁理士推薦委員会】

最高裁判所、知的財産高等裁判所、地方裁判所、農林水産省、特許庁、発明推進協会、その他、各方面からの弁理士派遣の依頼に対し、適切な人材を推薦し、推薦先における活動の報告の取り纏めを行います。

【特許制度運用協議委員会】

主な活動は、出願・審査・審判・方式事項等や、ペーパーレス及び特許情報の利用等に関して、制度運用の改善を図るべく、毎年、特許庁と協議（対庁協議）を行うことです。対庁協議は上期９月頃と下期３月頃の年２回に行われ、その対庁協議までに改善要望事項の募集のアンケートを行い、その中から対庁協議案件を選定し、その対庁協議案件について特許庁と協議を行います。

【情報企画委員会】

本年の活動は、附属機関、委員会等からの会員向け情報のコンテンツの充実、具体的には弁理士会電子フォーラムの閲覧方法の改善、インターネット会議導入に向けてのシステムの選定、弁理士ナビ改修に向けてのアンケートの実施等です。弁理士ナビの改修に携わり会員からの協力の必要性を強く感じました。弁理士ナビの基本情報以外の項目は、会員が直接登録するように構築されているからです。特に理由がない方は登録をして戴けますと弁理士ナビの情報量の充実に繋がるかと思います。

【不正競争防止法委員会】

不正競争防止法に関する政策提言の作成等、不正競争防止法の改正の検討及び提言、研修所及び知的財産支援センターが開催するセミナー等への協力、特定不正競争に関する事項の会員周知・啓発、不正競争防止法に関する重要判例の紹介等の対応を行います。

今年５月30日に「不正競争防止法等の一部を改正する法律」公布され、それに伴い弁理士会会員向けの必修研修が２つ行われることになり、この必修研修の不正競争防止法改正に関する研修の講師を担当することになりました。

【会員登録及び登録審査会】

会員の弁理士登録、付記登録及び抹消登録、更に事務所名称登録、特許業務法人設立等の申請がなされた場合の審査を行います。登録申請の際に役員会

で登録拒否相当と判断された申請者や登録抹消と役員会で判断された会員を審査する機関が登録審査会です。

【知財広め隊WG】（副）

中小企業知財支援事業を普及させるためのセミナー事業を全国各地で開催することを目的としたワーキンググループです。セミナー開催のために、連日、各開催地の会員が綿密な打合せを行っています。

【北陸支部】

北陸支部は新潟県・富山県・石川県・福井県の４県で構成されております。講演会の主催・共催及び後援、発明くふう展への審査員派遣・後援、無料特許相談室、関係機関・団体との交流も行っています。

【おわりに】

本稿掲載時点において、任期も約４ヶ月を残すところとなりました。最後まで全力を尽くして誠心誠意努力致す所存で御座いますので、これからも、皆様方の御理解及び御協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

日本弁理士会副会長に就任して

日本弁理士会副会長
田辺　恵

弁理士連合クラブからの推薦により平成30年度日本弁理士会副会長に就任いたしました。４月より役員となり副会長生活も残すところ３ヶ月となり、渡邉会長の任期２年目の成果を検証するとともに次期役員へ会務を手渡す準備を始める頃となっております。

副会長は会長を補佐することがその職責ですが、具体的には毎週水曜日の役員会で事業を説明し審議すること、附属機関・委員会の会議に出席し役員会の意向を伝えること、会務に関連して生じる事項を外部団体と折衝することを行っています。そのほかに財務を担当していることから、年度初めの予算立て、事業毎の予算承認や決算確認、監事会への報告を行っております。その他国際会議、海外ユーザー団体との会議、支部サミット、省庁との折衝と国内外を飛び回る日々も経験させていただきました。私自身これまで経験をしたことがないほど分刻みのスケジュールでしたが、事務所のみの日々では決して経験できなかったよい経験をさせていただいており感謝はつきません。

以下に、担当する附属機関・委員会等について簡単にご報告させていただきます。

【広報センター】

昨年度決めた方針に基づき20～30代のビジネスパーソンをターゲットに情報拡散型の広報を狙った施策を行い現在その検証をしております。一方、昨今様々な事件や事態に対応して迅速かつ的確な情報や意見を発信することも広報の大事な役目の一つとなっていることは明らかであり情報発信の体制作りも行いました。

【財務委員会】

財務委員会は、弁理士会の財務に関する調査、研究を行い、予算制度、会計処理制度及び財務管理制度の審議立案を行いますが本年度は、昨年度の財務委員会報告書を受けて予算削減を行った本年度の予算の妥当性を検討しました。

【弁理士法改正委員会】

本年度は、所謂５年毎の法律の見直しを見据えて、弁理士法に求められる改正点を洗い出すとともに、必要な調査を行い、弁理士法改正に備えます。

【意匠委員会】

経済産業省より「産業競争力とデザインを考える研究会」の報告書が提出され、現在法改正への準備が進んでいます。

【商標委員会】

従来からの業務に加え本年度の新たな試みとして経営基盤強化委員会との協力の下に弁理士が適切かつ高度な商標業務を提供することの検討及び提言について議論して頂いております。

【パテントコンテスト委員会】

上半期パテントコンテスト委員会委員が全国各地の学校へ出向き事前セミナーを行った結果、本年度

のパテントコンテストの応募件数は増大し、下半期は選出された出願支援対象作品について出願までの指導を行います。地道な活動でありながら未来へ向けた弁理士会の大切な情報発信事業の一つです。

【農林水産知財委員会】

農林水産知財は、所謂弁理士の専権業務のみならずその周囲の業務である地理的表示の登録申請、種苗法における品種登録出願、機能性表示食品表示の申請等多岐に亘る法律と業務に関連します。特許庁はもちろん他省庁とも協力して、農林水産業への弁理士の関わり方を検討するとともに、手続に携わり実績を作っています。

【知財政策検討ワーキンググループ】

知財政策についての検討と意見交換を行う同ワーキンググループでは、日本の知的財産政策について検討をし提言を行っています。

【監事会（財務）】

10名の内部監事と２名の外部監事による監事会が設置されています。月一回開催される監事会では、会務と財務の両面からに会務活動の適性性を監査頂き、監事の皆様からご意見を頂戴して会務に反映させています。

以上

久しぶりの会務を振り返って

弁理士連合クラブ副幹事長
菊池　徹

平成30年度、鈴木知幹事長の下、弁理士連合クラブの副幹事長を拝命しております、菊池徹と申します。弁理士同友会選出の副幹事長として、研修委員会と調整委員会の２つの委員会を担当させて頂きました。

鈴木幹事長には、私が会合等にはスケジュールの関係で都合がつかないことが多い事情をご配慮頂き、関副幹事長、奥川副幹事長に多大なご迷惑をお掛けしつつ、比較的集まりが多くは見込まれない部署を担当することを受け入れて頂き、改めて感謝申し上げます。

また、私自身、連合の会務を担当するのは実質的に約10年振りとご迷惑をお掛けしていましたが、久しぶりにお会いした先生方とも旧交を温めることができ、その意味でも個人的には意義ある１年でした。

さて、本年度の研修委員会は、委員長に谷口登先生（同友）、副委員長に伊藤信和先生（弁ク）、委員に茜ヶ久保公二先生（同友）、権正英樹（弁ク）、河部康弘（弁ク）に就任して頂きました。研修委員会の主事業は、旅行会での研修の開催ですが、結果としては身内ではありますが、茜ヶ久保先生に「デザイン経営と次の意匠法改正」と題して、正にタイムリーなテーマについてご講演頂くと共に丁寧なテキストをご用意頂き、実務家としての対応や見識を深めるのに非常に有意義でありました。

また、本年度の調整委員会は、委員長に丸山英一先生（同友）、副委員長に山本晃司先生（弁ク）、委員に小川眞一先生（同友）、中川裕幸先生（弁ク）、瀧澤匡則先生（弁ク）という、そうそうたるメンバーに就任して頂きました。本年度は、特に、弁理士クラブ様、弁理士同友会様とで、特に調整する事項もございませんでしたので、動きがございませんでした。もっとも、本年度は、船出の際には予想だにしなかった事態も生じましたが、その都度、弁理士クラブ幹事長の中川裕幸先生、弁理士同友会幹事長の高田大輔先生には、弁理士連合クラブとしての対応にも色々とご尽力賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

最後になりますが、弁理士連合クラブの副幹事長としての役割を果たすことができましたのは、鈴木知幹事長、関昌充副幹事長、奥川勝利副幹事長、研修委員会の谷口登委員長、調整委員会の丸山英一委員長の他、各委員会の先生方並びに弁理士連合クラブの会員の先生方のご協力があったからであり、ここに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

１年間大変お世話になりました

弁理士連合クラブ副幹事長
関　昌充

平成30年度弁理士連合クラブ副幹事長の関昌充です。

私の担当は政策委員会と役員協議委員会でした。鈴木知幹事長を始め、政策委員会委員長の伊賀誠司先生、役員協議委員会委員長の山本晃司先生を始め、委員の先生方、１年間大変お世話になりました。

また、任期が始まったばかりの１月後半から２月の終わり近くまで入院しており、４月からは週１回の講義のため動きが悪く、さらには、当選祝賀会の準備では、直前になって関係の先生方に大変ご迷惑をおかけ致しました。

平成29年の秋頃から体調不良が続いてはいたのですが、平成30年の１月初旬に高田大輔同友幹事長から「連合の副幹事長に」と打診された際には、体調の方はそれほど悪化しておらず、浅学非才の身ながらと、お請けしたものの、ほんの10日程後に救急搬送され、そのまま入院となりました。

新旧引き継ぎには入院中のため出席できず、退院直後の第１回幹事会、第１回定時総会にも欠席させていただきました。また、役員協議委員会担当の副幹事長ならば出席が必須とも言える旅行会についても、長時間の移動に不安がある状況でしたので、欠席させていただきました。

役員選挙については、連合推薦の副会長候補者が立候補辞退となった結果もそうなのですが、このような事態になった経緯については大変残念に思います。次年度以降、このようなことが二度と起こらないように願って止みません。

以上、副幹事長としての任を全うしたとは言えない状況で大変申し訳ありませんが、最後に、弁理士連合クラブの益々の発展を祈念して挨拶とさせていただきます。

連合副幹事長としての一年間を振り返って

弁理士連合クラブ副幹事長
奥川　勝利

弁理士連合クラブの平成30年度副幹事長を務めました弁理士クラブ所属の奥川勝利です。本年度は、弁理士連合クラブ会員の皆様に支えられながら、鈴木知幹事長のもと、不慣れながらも、副幹事長として一年間何とかお役目を果すことができました。これも、会員の皆様のご協力のおかげだと感じております。ありがとうございます。このたび、機関誌の発行にあたり、一言ご挨拶と会務の報告をさせていただきます。

本年度は、２年に一度の日本弁理士会会長を選ぶ役員選挙の年でした。私も、弁理士連合クラブのご推薦を頂きまして、次年度の常議員候補として今回の選挙活動に関わり、会員の皆様のご支援、ご協力のおかげで、無事当選を果たすことができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

私は、副幹事長として、弁理士連合クラブの総務委員会と企画委員会を担当いたしましたので、総務委員会及び企画委員会に関する会務報告をいたします。

総務委員会は、主に、弁理士連合クラブの総会・幹事会の準備、運営を行います。弁理士連合クラブは、毎年１月から年度が始まりますが、２月にはすぐに第１回定時総会・幹事会を開催しますので、年度当初から総務委員会は忙しくなります。特に、この２月の定時総会・幹事会では、本年度の事業計画と予算の準備をしなければならず、その準備期間がとても短いため、忙しなく準備をしたように思います。それでも、潮太朗総務委員長が迅速かつ的確に準備、運営をしてくださったおかげで、無事に乗り切ることができました。本当にありがとうございました。その後、３月には、東海協議会が主催する「現役員慰労会及び新役員激励会」と西日本弁理士クラブが主催する「現役員慰労会および新役員激励会」に参加するお役目がありますが、これを終えると、８月ごろまでしばらく活動が空きます（６～７月ごろに他会派の旅行会に参加するというお役目はあります。）。９月の頭には、日本弁理士会役員選挙に向けての第２回定時総会・幹事会が開催されます。そのため、８月後半ごろからは、これに向けての議案資料の準備、並びに、会務中間報告と会計中間報告の作成、準備を行います。会計中間報告の作成にあたっては、お忙しい中でも正確に報告書を作成してくださった会計担当の松本直子副総務委員長に多大なご尽力をいただきました。本当にありがとうございました。本年度は、この第２回定時総会・幹事会の後に、選挙活動に関わるご承認を頂くため、臨時総会・幹事会を急遽開催いたしましたが、会員の皆様のご理解とご協力のもと、議案をご承認いただきました。また、11月の臨時総会・幹事会におきましても、会員の皆様のご協力により、弁理士連合クラブの次年度幹事長の選出も無事に終えることができました。

企画委員会は、主に、９月の弁理士連合クラブの旅行会の準備、運営と、機関紙「連合」の発行を行います。９月の旅行会については、小國泰弘企画委員長のリーダーシップにより、また、企画委員会の委員の皆様の多大なご尽力によって、滞りなく終えることができました。また、本機関紙「連合」の発

行も完璧に行っていただき、企画委員会の皆様には感謝しかございません。本当にありがとうございました。

残りは、本年度の事業報告と会計決算報告の作成というお仕事がありますが、この機関紙「連合」が発行される頃には、それも完了していると思います。

最後になりますが、私が弁理士連合クラブの副幹事長としての役割を果たすことができたのは、ご指導いただいた鈴木知幹事長をはじめ、弁理士連合クラブの活動のためにご尽力いただいた高田大輔弁理士同友会幹事長並びに中川裕幸弁理士クラブ幹事長、各委員会で活動いただいた先生方ほか、弁理士連合クラブ会員の皆様のご協力あってのことと感じております。ここに深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

平成30年度弁理士連合クラブのあゆみ

（2018.1. 1～2018.12.31）

平成30年	２月６日	新旧役員引き継ぎ
	２月７日	第１回常議員会議案説明会
		日本弁理士会第２回臨時総会前の議案説明について
	２月27日	第１回幹事会、第１回定時総会、懇親会
		事業報告、決算、事業計画、予算、人事報告等
	２月28日	日本弁理士政治連盟役員との懇談会
	３月９日	東海協議会／慰労・激励会
		西日本弁理士クラブ／慰労・激励会
	３月14日	日本弁理士会　第２回臨時総会
	３月29日	第１回企画委員会
		旅行会の企画検討
	４月18日	第２回常議員会議案説明会
		日本弁理士会第１回定時総会前の議案説明について
	５月16日	日本弁理士政治連盟：「保岡興治」先生を囲む弁理士有志の会
	５月18日	第２回企画委員会
		旅行会下見（宮城県・松島）／旅行会に関するホテル・観光先の選定
	５月25日	第１回政策委員会
		定時総会議案の検討
	５月30日	日本弁理士会　第１回定時総会
	６月１日	機関誌『連合』第28号発行
	６月12日	第３回企画委員会
		旅行会下見報告、検討
	６月15日	日本弁理士クラブとの打ち合わせ（共同推薦について）
	６月16日	日本弁理士クラブ旅行会（神奈川県・箱根湯本）
	６月29日	第２回政策委員会
		弁理士法改正について
	７月５日	連合／政策勉強会
		梶執行理事からの産構審等での最近の動向に関する報告と質疑
	７月７日	（豪雨のため中止：西日本弁理士クラブ旅行会）
	７月19日	第３回政策委員会
		日本弁理士クラブ／意見交換会
		会長立候補予定者による方針説明と意見交換

７月19日　機関誌『連合』第28号 ホームページに掲載
８月29日　三派説明会
　　Ｂ法人、弁理士報酬の分配制限、ネット広告、支部名称
８月29日　第１回役員協議委員会
９月 ４日　第２回幹事会、第２回定時総会
　　平成31年度日本弁理士会役員候補予定者の推薦の件
９月 ８日　連合旅行会（宮城県・松島）
９月 ８日　三派会議
　　平成31年度日本弁理士会役員選挙について
９月10日　平成31年度日本弁理士会役員選挙の立候補受付・選挙運動開始
９月12日　平成31年度日本弁理士会役員選挙の立候補受付終了
９月12日　連合・日弁会合
９月14日　第３回幹事会、第１回臨時総会
　　副会長立候補者の立候補撤回の件について
９月14日　平成31年度日本弁理士会役員選挙の候補者確定・当選人決定
11月 ７日　連合／同友・弁ク合同会議
11月14日　第３回常議員会議案説明会
　　日本弁理士会第１回臨時総会前の議案説明
11月14日　連合・日弁会合
11月21日　第４回幹事会、第２回臨時総会
　　次年度連合役員人事の承認の件
12月 ５日　連合／日本弁理士会役員選挙当選祝賀会
12月11日　連合・日弁会合
12月20日　十派幹事長会
12月21日　日本弁理士会　第１回臨時総会

以上

総務委員会

委員長　潮　　太朗

1．委員会の構成

委員長　潮　太朗（弁ク）
副委員長　松本直子（同友）
委員　須山英明（弁ク）
　　笹野拓馬（同友）
　　三苫貴織（弁ク）
　　河合利恵（同友）
担当副幹事長　奥川勝利（弁ク）

2．職務権限

会員の連絡及び会議場所の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会の職務に属しない事項を行う。

3．諮問事項

(1)　総会及び幹事会その他、他の委員会以外の会議の会場の設営、開催の通知、及び会議の運営、委員会及び委員への連絡及び会計に関する事項の審議及びその実行

(2)　特に定時総会の開催時期を中心として本会の会則等改正の審議及び答申

4．活動報告

(1)　第１回幹事会／第１回定時総会

開催日時：平成30年２月27日（火）
幹事会：18：00～
定時総会：18：30～
場　所：弁理士会館
議　案

１　第１号議案(趣旨説明：奥川　勝利　副幹事長)
　平成29年度弁理士連合クラブ事業報告の承認を求める件

２　第２号議案(趣旨説明：奥川　勝利　副幹事長)
　平成29年度弁理士連合クラブ会計報告の承認を求める件

３　第３号議案(趣旨説明：鈴木　知　幹事長)
　平成30年度弁理士連合クラブ事業計画の承認を求める件

４　第４号議案(趣旨説明：鈴木　知　幹事長)
　平成30年度弁理士連合クラブ予算の承認を求める件

５　報告事項(趣旨説明：鈴木　知　幹事長)
　平成30年度弁理士連合クラブ役員、委員等選任に関する報告

６　その他

(2)　懇親会

開催日時：平成30年２月27日（火）
　　19：15～21：00
場　所：霞山会館
司　会：総務委員長　潮　太朗
式次第

１　開会の辞　奥川　勝利（副幹事長）
２　幹事長挨拶　鈴木　知（幹事長）
３　ご挨拶
　日本弁理士会副会長　本田　淳　殿
４　乾　杯　相談役　川久保　新一　殿
　＜歓　談＞
５　粕川　敏夫前幹事長への感謝状･記念品の贈呈
　鈴木　知（幹事長）
６　お礼の辞　前幹事長　粕川　敏夫　殿
７　ご挨拶
　弁理士同友会幹事長　高田　大輔　殿
　弁理士クラブ幹事長　中川　裕幸　殿
８　日本弁理士会執行役員会の会務報告
　日本弁理士会副会長　梶　俊和　殿
　＜歓　談＞
９　閉会の辞　菊池　徹（副幹事長）

⑶　第２回幹事会／第２回定時総会

開催日時：平成30年９月４日（火）

幹 事 会：19：00～

定時総会：19：30～

場　　所：弁理士会館

議　　案

１　第１号議案（趣旨説明：関　昌充　副幹事長）

平成31年度日本弁理士会役員（副会長・監事・常議員）候補予定者の推薦について承認を求める件

２　第２号議案（趣旨説明：関　昌充　副幹事長）

平成31年度日本弁理士会役員（会長）候補予定者の推薦について承認を求める件

３　報告事項１（報告者：奥川　勝利　副幹事長）

平成30年度弁理士連合クラブ会務中間報告

４　報告事項２（報告者：奥川　勝利　副幹事長）

平成30年度弁理士連合クラブ会計中間報告

５　その他

役員選挙候補予定者（副会長・監事・常議員）からの挨拶

⑷　第３回幹事会／第１回臨時総会

開催日時：平成30年９月14日（金）

幹 事 会：12：00～

臨時総会：12：30～

場　　所：弁理士会館

議　　案

１　第１号議案（趣旨説明：鈴木　知　幹事長）

平成31年度日本弁理士会役員選挙副会長立候補者の立候補撤回について承認を求める件

⑸　第４回幹事会／第２回臨時総会

開催日時：平成30年11月21日（水）

幹 事 会：18：00～

臨時総会：18：30～

場　　所：弁理士会館

議　　案

１　第１号議案（趣旨説明：鈴木　知　幹事長）

平成31年度弁理士連合クラブ役員の選任について承認を求める件

２　報告事項１（報告者：奥川　勝利　副幹事長）

平成30年度弁理士連合クラブ会務中間報告

３　報告事項２（報告者：奥川　勝利　副幹事長）

平成30年度弁理士連合クラブ会計中間報告

以上

政策委員会

委員長　伊賀誠司

1．委員会の構成

委員長　伊賀誠司（同友）
副委員長　橘　和之（弁ク）
委員
(1)弁理士クラブ　委員
川久保　新一
中川　裕幸
山川　茂樹
岸本　達人
塩野谷　英城
瀧澤　匡則
(2)弁理士同友会　委員
古谷　史旺
小林　保
長内　行雄
小川　眞一
丸山　英一
山﨑　高明
担当副幹事長　関　昌充（同友）

2．職務権限

政策委員会は、日本弁理士会の会務の執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。

3．諮問事項

(1)　日本弁理士会の常議員会、総会への対応
(2)　日本弁理士会からの意見募集への対応
(3)　「次期弁理士法改正項目」に関する意見・提言

4．活動報告

2018.2.22　政策委員会の立ち上げ（メールによる委員就任依頼）
2018.2.27　連合総会
2018.4.18　日本弁理士会平成29年度第２回常議員会議案説明会
2018.5.14　「ＡＩ・データの利用に関する契約ガイドライン（案）」に対する意見募集を行う。
2018.5.16　「保岡興治」先生を囲む弁理士有志の会
2018.5.25　日本弁理士会平成30年度第１回常議員会議案説明会
この説明会後、議案である「今年度の弁理士会事業計画」に関する意見募集を第１回政策委員会メール会議として行う。
2018.5.30　日本弁理士会　総会
2018.6．6「次期弁理士法改正項目」に関する意見募集を行う。
2018.6.29　第２回政策委員会（同友・弁ク政策との拡大政策委員会）を弁理士会会議室にて開催し、上記意見募集中の「次期弁理士法改正項目」に関し、田辺副会長及び山川担当執行理事から直接説明を頂き、その検討を行った。
2018.7．4　上記第２回政策委員会における「次期弁理士法改正項目」に関する検討結果を「次期弁理士法改正についての連合政策からの意見」としてまとめ、鈴木幹事長に提出した。
2018.7.19　日弁との次期会長候補予定者を交えた意見交換会に第３回政策委員会として参加した。
2018.8.29　日本弁理士会による三派説明会（「B法人」、「弁理士報酬の分配制限」、「ネット広告」、「支部名称」における検討状況の説明等）この説明会後、これらの内容について意見募集を行う。
2018.9．4　連合第１回臨時総会
2018.9．8　連合旅行会

2018.11.15　日本弁理士会第３回常議員会議案説明会
2018.11.19「報酬の分配制限に関する規定の新設」に関しての意見募集を行う。
2018.11.21　連合第２回臨時総会

＜雑感＞

今年度、思いがけなく鈴木幹事長の下で、政策委員長を務めさせて頂きました。こうして１年を振り返ると、集合した単独の政策委員会を開いたのは１度でしたが、結構頻繁に委員各位等にメール送信にて各審議事項に関する資料送付を行い、その意見募集やメール会議を開催したように思います。政策委員の先生方を始めご協力を頂いた諸先生方、誠にありがとうございました。特に、第２回政策委員会で「次期弁理士法改正項目」の説明を熱く語って頂きました田辺副会長及び山川担当執行理事には感謝致します。おかげで、政策委員会としての意見をまとめることができました。

次に、日弁との次期会長候補予定者を交えた意見交換会では、日弁の次期会長候補予定者に対し、連合としての政策提言・要望等を行い活発な意見交換ができました。そして、弁ク・同友双方の決議を得て、連合としての共同推薦に至りました。

しかしながら、次年度弁理士会役員選挙において、連合の副会長候補の一人が立候補を辞退する結果となり、上記共同推薦の意味が問われる事態となったのは、大変残念なことです。今後この様なことが繰り返されないよう、日弁との間での後始末が必要と思います。

次年度は連合推薦の副会長が一人となり、片肺飛行となります。次年度連合執行部におきましては、副会長一人でも次年度弁理士会執行部に対し、しっかりとした政策提言ができるよう頑張って頂きたいと望む次第です。

何はともあれ、１年間お世話になりました。皆様のご協力・ご支援に心より感謝し、厚く御礼申し上げます。

以上

企画委員会

委員長　小　國　泰　弘

1．委員会の構成

委員長	小　國　泰　弘（弁ク）
副委員長	横　田　香　澄（同友）
委員	吉　村　俊　一（同友）
	絹　谷　晴　久（弁ク）
	加　藤　和　孝（弁ク）
	小田原　敬　一（弁ク）
	髙　井　智　之（同友）
担当副幹事長	奥　川　勝　利（弁ク）

2．職務権限

本会の運営の改善及び新規会員の増加対策等の調査、研究並びに機関紙の編集、発行に関する事項を行う。

3．諮問事項

⑴　旅行会、ゴルフ大会、その他会員相互の親睦を図るための行事の企画及びその実行

⑵　他会派との積極的な交流を図るための行事の企画及びその実行

⑶　機関誌の発行

⑷　弁理士連合クラブの組織活性化のための方策の立案及びその実行

⑸　弁理士連合クラブのホームページの維持及び管理

4．活動報告

⑴　第１回企画委員会

日　時：平成30年３月29日

場　所：弁理士会館３階３－Ｂ会議室

議　題：委員の役割分担、旅行会の企画検討、会誌「連合」の依頼、ホームページの管理について

⑵　第２回企画委員会

日　時：平成30年５月18日～19日

場　所：宮城県、松島海岸「ホテル松島 大観荘」及び石巻他

議　題：旅行会の下見、現地での各施設、設備、段取り等の確認

⑶　第３回企画委員会

日　時：平成30年６月12日

場　所：弁理士会館地階Ｃ会議室

議　題：旅行会の当日の段取りの確認など

⑷　平成30年度弁理士連合クラブ旅行会の実施

平成30年９月８日（土）～９日（日）にかけて松島海岸「ホテル松島 大観荘」において開催した。研修講師１名を含め69名もの先生方の参加を得て盛大に開催された。

⑸　平成30年度弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会

例年通り、旅行会の２日目に「松島チサンカントリークラブ・仙台コース」において弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会を開催した。天候は生憎の雨であったが、５組17名の参加を得た。

⑹　平成30年度弁理士連合クラブ旅行会観光

昨年に引き続き、今年もゴルフ大会とは別に観光を手配した。12名の先生方が参加され、貸し切りバスを利用して、東日本大震災に見舞われた石巻の復興の現場を震災の語り部さんの案内の元に見学した。従来の観光とは違う、有意義な勉強をすることができた。

⑺　ホームページの維持、管理

弁理士連合クラブのホームページのコンテンツ（幹事長挨拶、組織図、年間行事など）のアップ

デートを行った。

(8) 機関紙の発行

平成31年１月末にホームページを通じて発行する予定である。

研修委員会

委員長　谷口　登

1．委員会の構成

委員長	谷口　登	(同友11001)
副委員長	伊藤信和	(弁ク10654)
委員	茜ヶ久保公二	(同友12364)
	権正英樹	(弁ク13869)
	河部康弘	(弁ク21198)
担当副幹事長	菊池　徹	(同友09961)

2．職務権限

研修委員会は、弁理士制度、知的財産権制度、司法制度及び科学技術に関する研修を行い、会員の啓蒙を行う。

3．諮問事項

⑴　弁理士制度、知的財産権制度、司法制度及び科学技術に関する研修の開催（弁理士としてのスキルアップ用研修の開催）

⑵　その他、必要があれば、連合会員にとって有益な研修の開催

4．活動報告

本年度は、宮城県宮城郡松島町の松島海岸で行われた平成30年度弁理士連合クラブ旅行会において、下記のとおり研修会を開催しました。

研修テーマ：「デザイン経営と次の意匠法の改正」
日　時：平成30年９月８日（土）
　　15：00～16：00
講　師：弁理士　茜ヶ久保公二　先生
　　（TMI総合法律事務所・日本弁理士会意匠委員会副委員長）
会　場：松島海岸「ホテル松島 大観荘」
内　容：

2015年（平成27年）度より継続して日本弁理士会意匠委員を歴任されており、本年度は、「意匠の保護対象の拡大」について検討する部会長としてご活躍されている茜ヶ久保公二先生を講師をお願いし、平成30年５月23日に「産業競争力とデザインを考える研究会」（経済産業省・特許庁）の報告書として公表された「デザイン経営宣言」と平成30年８月６日より、産業構造審議会の意匠小委員会で本格的に審議が開始された「意匠法改正の方向性」等についてご講演頂きました。

意匠法改正の方向性については、前記「デザイン経営宣言」が公表された後、たった２ヶ月程度で意匠法改正に向けての検討が本格化したにもかかわらず、ユーモアを交えながら簡潔・明瞭にご説明頂き、また、配布資料には、意匠出願に関する統計データや意匠侵害訴訟・損害額等に関する情報を盛り込んで頂けたので、受講生にとっては非常に有益であったのではないかと思います。

5．おわりに

ご多忙にも拘らず、連合旅行会での講師をお引き受け頂いた茜ヶ久保公二先生にはこの場を借りて深く感謝申し上げます。

また、日本弁理士会の執行理事としてご多忙であるにも拘らず、連合旅行会の資料配布等の際にお手伝い頂いた山田武史先生にも深く感謝申し上げます。

近年、弁理士を取り巻く環境が今までに経験したことないような速いスピードで変化しており、この変化に対応していくためには、今まで以上に研修を通じて研鑽を積む必要性が高まっているように思います。

日本弁理士会（各支部を含む）では継続研修が盛んに行われておりますが、弁理士連合グラブでは、非常に速いスピードの変化に対応できるよう、継続研修とは異なった観点で研修を行う必要性があると思われます。

以上

第28回連合旅行会・ゴルフ大会

平成30年9月8日(土)～9日(日)　松島海岸　ホテル松島 大観荘　松島チサンカントリークラブ･仙台コース

松島の海をみて

企画委員長　小國　泰弘

今年度の旅行会は、９月８日（土）～９日（日）に松島海岸「ホテル松島 大観荘」にて開催しました。

松島海岸は、日本三景の一つ松島の玄関口にあたり、近くには、伊達政宗が造営した瑞巌寺、伊達政宗が豊臣秀吉から拝領した観瀾亭などがあります。交通は、鉄道を使う場合、JR仙台駅からJR仙石線に乗って約40分かけて、松島海岸駅で下車します。そこから、ホテルまでは、専用シャトルバスで約５分です。

旅行会では、例年通り、研修会を催します。今年の研修会は、弁理士同友会の茜ヶ久保公二先生を講師にお招きして、「デザイン経営と次の意匠法の改正」と題してご講演いただきました。私は、受付の仕事などで研修を受けられませんでしたが、活発な議論が行われたようです。

研修会の後は、参加者の先生方の懇親を深めるため、恒例の宴会をとり行いますが、宴会までには多少の時間がありますので、参加者の先生方にはのんびりと温泉に浸かるなど、思い思いの時間を楽しんでいただいたかと思います。

さて、宴会ですが、その前に、これも恒例ですが、参加者全員の集合写真を撮影しました。例年ですと、決まって、撮影に遅れる先生がいるのですが、今年はそのようなことはなく、皆様のご協力もあって、スムーズにとり行うことができました。一方で、お席へのご案内がスムーズにできなかった点が反省です。他会派の先生方に対しては、立て看板でお座席をお示しすることができたのですが、連合の先生方には特に立て看板を用意していなかったため、どこに座っていいのかわからず、多少の混乱を招いてしまいました。次回の旅行会では連合参加者用にも立て看板を配置するなどの工夫が必要かと考えます。

写真撮影の後は、宴会のスタートとなります。先ず、弁理士連合クラブ幹事長の鈴木知先生によるご挨拶に始まり、ご来賓の日本弁理士会会長渡邉敬介先生、日本弁理士クラブ幹事長真田有先生、西日本弁理士クラブ幹事長永田元昭先生からご挨拶を頂戴いたしました。乾杯は、弁理士連合クラブ相談役永井義久先生にご発声をいただきました。

その後は、コンパニオンさんもお呼びして宴会となりました。特に余興は用意しませんでしたが、参加して頂いた先生方には、積極的に交流し、ご歓談していただき、楽しい時間を過ごしていただけたのではないかと思います。

食事については、地元名物の牛タンなど、おいしいお料理の数々をご用意させていただきました。

宴会の中締めは、弁理士連合クラブ相談役の石川憲先生にお言葉をいただきました。

宴会の後の二次会は、残念ながら、当日は他の宿泊客も多数おられたようで、ホテル内のスナックやカラオケボックスなどを予約することができませんでした。そのため、ホテルのコンベンションホールにカラオケの機器を持ち込んで、カラオケ大会を開くことになりました。しかしながら、カラオケの機械の調子が悪く、二人の先生が歌うだけで、カラオケ自体は誠に盛り上がりに欠け、誠に反省しないといけない失態でした。ただ、先生方同士のご歓談は大いに盛り上がっていただけたのが幸いでした。

二次会の閉会の辞は、弁理士連合クラブ副幹事長菊池徹先生に行っていただきました。しかしながら、開会の辞を終え、二次会の終了及び三次会のご案内を何度となくアナウンスしても、なかなか、皆さん、動こうとはされませんでした。最後に、カラオケから「蛍の光」を流したところ、誰も席を立とうとはしなかった状況が嘘のように、皆さん、会場を後にしていただくことができました。音楽はかくも偉大なものかと痛感した次第です。

二次会の後は三次会です。例年ですと、三次会用に幹事部屋を開放していましたが、幹事も翌日の観光やゴルフのご案内などの仕事があり、早く寝る必要がありますので、今年はホテルの宴会棟の一室を借りて、そこでとり行うことにしました。連合の先生方のみならず、他会派の先生方にもお越しいただき、深夜まで活発に語り合い、交流を深めていただけたようです。

二日目は、観光及びゴルフ大会を催しました。

観光は、「石巻震災まなびの案内」と題して、バスを借り、大震災に見舞われた石巻を訪れました。そこで、ボランティアガイド（語り部）さんに、バスに乗ってもらって、被災地を案内してもらいながら、大震災についてお話を伺いました。印象深かったのは、きちんと避難訓練をしていた工場や学校では一人も死者を出さずに済んだという点です。関東地方もいずれ遠からず震災に見舞われる虞がありますが、決して、避難訓練などをおろそかにしてはならず、常日頃から備えておくことが如何に重要なのか感じる次第でした。

また、「東日本大震災メモリアル 南浜つなぐ館」にも立ち寄りました。そこは、かつては、多くの人たちが居住していた住宅街だったそうですが、震災の津波により、ほとんどの住宅が押し流され、今や災害危険区域に指定されて、人が住めない地域になってしまいましたが、将来は、「石巻南浜津波復興祈念公園」の建設が予定されています。館内では、震災の映画をみたり、震災直後の様子をVRで体験したりと、震災の恐ろしさを勉強させてもらいました。また、館内の敷地には「がんばろう！石巻」の大きな看板も設置されていました。

石巻市は、街並みも整備される一方、震災に対する備え、例えば、津波に備えて、食料等が備蓄された避難ビルやタワーが建てられ、避難誘導のための

標識も配置されるなど、教訓を活かした街づくりがなされ、復興に向けた着実な歩みを感じ取ることができました。

震災の学びの後は、「いしのまき元気いちば」にて昼食を取りました。「いしのまき元気いちば」は、石巻に活気を取り戻そうとして開設されたもので、１階が物販コーナー、２階がフードコートとなっていて、地元の特産を食したり、お土産を買ったりと楽しむことができました。

また、近くには、宇宙船をイメージした外観の「石ノ森萬画館」があり、そこに行かれた参加者も何人かいました。私もその一人です。サイボーグ009など昔見た懐かしいアニメなどに触れ合うことができました。

その後は松島海岸に戻り、そこで、観光は終了となりました。何人かの先生は、その後、自由行動で、松島周遊などを楽しんだかと思います。私も近くのお寺を巡ったり、土産物を買ったりとしました。

帰りは、観光に使用したバスを使い、何人かの観光に参加された先生を乗せて、ゴルフ場へと向かい、そこで、ゴルフに参加された先生方も乗せて、一路、仙台駅、次いで仙台空港へと向かい、参加された先生方を順次降ろして、無事に旅行会を終えることができました。

最後に、この度の旅行会にご参加していただいた先生方には心からお礼を申し上げます。私の不慣れな準備や進行のため、ご不便やご迷惑をお掛けしたかと思いますが、何卒、お許し頂きたくお願い申し上げます。

また、旅行会の準備・運営にご尽力いただきました企画委員会の先生方にも、この場を借りて、深く感謝申し上げます。

今回の旅行会が、参加していただいた先生方の楽しい思い出となり、次回の旅行会にも、他の先生をお誘いして、参加していただければ、幸甚です。

9月9日＜ゴルフ大会の部＞

ゴルフ大会幹事　加藤　和孝

今年の弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会は、「松島チサンカントリークラブ・仙台コースで開催されました。今年の連合ゴルフ大会といえばなんといっても「雨」でございます。ゴルフ場へ向かう送迎バスに乗り込む際から、本降りの雨！少々トーンの下がる先生方もみえるなかゴルフ場へ向かいました。屋根のあるキャディマスター室前の軒先で開会式を行った後、写真撮影となりましたが、ここでカメラマンをお願いした可愛らしいキャディーさんの「今日一の笑顔で～す♪」の掛け声に、ひと時の癒しを感じたのが下の写真でございます。本当にこの写真が今日一の笑顔になった先生もいたかもしれません。

さて、コースのほうはなかなかの深いラフとなっており、降りしきる雨とあいまってラフにつかまるとなかなか抜け出すのが難しい。そればかりか、水に濡れ白くなった毛足の長い芝生とボールとが同化して探すのも一苦労。私もやっと見つけたボールを打つも、「ナイスショーっと」のイメージとは異なり、チョロを連発と、「コレジャナイ感」を感じながら我慢のゴルフでございました。

結果のほうは、成績表のとおり、悪コンディションにスコアが伸び悩むなか、弁理士クラブの永井義久先生が優勝を飾りました。表彰式は、時間の関係上、仙台駅に向かうバスの中での開催となりましたが、疲れをいやす一杯とともに多いに盛り上がりました。

最後に、つたない進行ではありましたが無事ゴルフ大会を終了できたことに、参加していただきました先生方に感謝を申し上げます。

第28回連合旅行会・ゴルフ大会成績

平成30年9月9日（日）
於：松島チサンカントリークラブ・仙台コース　新ペリア方式

順位	氏名（敬称略）	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優　勝	永井　義久	52	55	107	34.8	72.2
準優勝	永田　元昭	47	47	94	21.6	72.4
3位	佐藤　辰彦	50	54	104	31.2	72.8
4位	太田　昌孝	56	60	116	42.0	74.0
5位	川久保新一	43	48	91	16.8	74.2
6位	北村修一郎	48	54	102	26.4	75.6
7位	上羽　秀敏	52	54	106	30.0	76.0
8位	奥川　勝利	45	54	99	21.3	77.4
9位	加藤　和孝	56	65	121	43.2	77.8
10位	平山　　淳	52	62	114	36.0	78.0
11位	吉村　俊一	49	55	104	24.0	80.0
12位	中尾　直樹	52	51	103	22.8	80.2
13位	北原　宏修	44	50	94	13.2	80.8
14位	今堀　克彦	61	63	124	43.2	80.8
15位	吉田　　稔	68	61	129	46.8	82.2
16位	石川　　憲	58	62	120	36.0	84.0
17位	真田　　有	58	64	122	37.2	84.8

平成30年度弁理士連合クラブ
役員・委員長・副委員長・委員

幹 事 長　鈴木　知（弁ク）

副幹事長　菊池　徹（同友）（調整、研修）
関　昌充（同友）（政策、役員協議）
奥川　勝利（弁ク）（総務、企画）

幹　　事　（同友）林　實　小林　保　小川　眞一　丸山　英一　笹野　拓馬　松本　直子
（弁ク）中川　裕幸　山本　晃司　伊藤　信和　今堀　克彦　瀧澤　匡則　潮　太朗

監　　事　長内　行雄（同友）　真田　修治（弁ク）

相 談 役　（同友）原田　信市　菊池　新一　小池　晃　田辺　敏郎　古谷　史旺　小林　正治
吉田　芳春　小川　眞一　丸山　英一　粕川　敏夫　石川　憲
（弁ク）古谷　馨　山川　政樹　絹谷　信雄　伊藤　進　須山　佐一　中島　淳
木下　實三　永井　義久　川久保　新一　渡邉　一平　山川　茂樹
山本　晃司

委　員　会

【総務委員会】
委 員 長　潮　太朗（弁ク）
副委員長　松本　直子（同友）
委　　員　（同友）河合　利恵
（弁ク）須山　英明　三苫　貴織

【政策委員会】
委 員 長　伊賀　誠司（同友）
副委員長　橘　和之（弁ク）
委　　員　（同友）古谷　史旺　小林　保　長内　行雄　小川　眞一　丸山　英一
山﨑　高明
（弁ク）川久保　新一　中川　裕幸　山川　茂樹　岸本　達人　塩野谷　英城
瀧澤　匡則

【企画委員会】
委 員 長　小國　泰弘（弁ク）
副委員長　横田　香澄（同友）
委　　員　（同友）吉村　俊一　高井　智之
（弁ク）絹谷　晴久　加藤　和孝　小田原　敬一

【役員協議委員会】

委 員 長　山本　晃司（弁ク）
副委員長　藤浪　一郎（同友）　吉村　俊一（同友）
委　　員　（同友）藤井　稔也　井澤　幹　関　大祐　高下　雅弘　吉田　倫太郎
（弁ク）今堀　克彦　絹谷　晴久

【調整委員会】

委 員 長　丸山　英一（同友）
副委員長　山本　晃司（弁ク）
委　　員　（同友）小川　眞一
（弁ク）中川　裕幸　瀧澤　匡則

【研修委員会】

委 員 長　谷口　登（同友）
副委員長　伊藤　信和（弁ク）
委　　員　（同友）茜ヶ久保　公二
（弁ク）権正　英樹　河部　康弘

弁理士連合クラブ歴代役員

【昭和62年度】

幹 事 長　山川政樹
副幹事長　佐々木功　志賀正武　下田容一郎
幹　　事　天野　泉　伊藤　進　岡田英彦
菊池新一　絹谷信雄　佐藤孝雄
土橋　皓　中畑　孝　中山　清
原田信市　古谷　馨　米屋武志
監　　事　佐々木秋市　丹波宏之
顧　　問　当分の間置かない

【昭和63年度】

幹 事 長　山川政樹
副幹事長　佐々木功　志賀正武　下田容一郎
幹　　事　天野　泉　伊藤　進　岡田英彦
菊池新一　絹谷信雄　佐藤孝雄
土橋　皓　中畑　孝　中山　清
原田信市　古谷　馨　米屋武志
監　　事　佐々木秋市　丹波宏之
顧　　問　当分の間置かない

総務委員会
委 員 長　山元俊仁

政策委員会
委 員 長　磯野道造
副委員長　小田治親
委　　員　黒川弘朗　竹内　裕　秋山　修
守谷一雄　須山佐一　木下實三
三澤正義　羽村行弘

企画委員会
委 員 長　紺野正幸
副委員長　森　哲也
委　　員　大貫和保　黒田博道　田辺敏郎
辻　　実　中山伸治　松田雅章
村田幹雄　渡邊喜平

選挙対策委員会
委 員 長　佐々木功

【平成元年度】

幹 事 長　古谷　馨
副幹事長　佐々木功　佐藤孝雄　原田信市
幹　　事　磯野道造　菊池新一　絹谷信雄
志賀正武　下田容一郎　武田賢市
土橋　皓　中山　清　丹波宏之
古谷史旺　山川政樹　米屋武志
監　　事　安達房次郎　須田孝一郎

総務委員会
委 員 長　須山佐一
副委員長　吉田精孝
委　　員　大原拓也　恩田浩宣　大貫和保
小倉正明　高橋康夫　田辺敏郎
仁平　孝　渡邊喜平

政策委員会
委 員 長　原田信市
副委員長　守谷一雄
委　　員　天野　泉　黒田博道　紺野正幸
竹内　裕　竹山宏明　戸村　隆
松田雅章　真田修治

企画委員会
委 員 長　唐木浄治
副委員長　木村高久
委　　員　山崎輝緒　齋藤美晴　佐藤幸男
渡部敏彦　古谷史旺　大津洋夫
小林正治　今野耕哉

選挙対策委員会
委 員 長　丹羽宏之

【平成２年度】

幹事長　佐々木功
副幹事長　菊池新一　佐藤孝雄　下田容一郎
天野　泉　小池　晃　絹谷信雄
木下實三　紺野正幸　志賀正武
土橋　皓　中畑　孝　中山　清
原田信市　山川政樹　米屋武志
監　事　秋本正實　武田賢市

総務委員会
委員長　小林正治
副委員長　山崎輝緒
委　員　加藤和詳　五十嵐和壽　木村高久
竹山宏明　齋藤美晴　本田　崇
仁平　孝　羽村行弘

政策委員会
委員長　下田容一郎
副委員長　坂口信昭
委　員　秋元芳雄　飯田昭夫　積田輝正
中島　淳　原田信市　三澤正義
守谷一雄　山元俊仁

企画委員会
委員長　吉田精孝
副委員長　渡部敏彦
委　員　唐木浄治　黒田博道　桑原　稔
永井義久　仁科勝史　松田雅章
本宮照久　渡邉一平

選挙対策委員会
委員長　絹谷信雄

【平成３年度】

幹事長　菊池新一
副幹事長　米屋武志　下田容一郎　佐藤孝雄
幹　事　天野　泉　磯野道造　絹谷信雄
志賀正武　武田賢市　土橋　皓
中島　淳　中山　清　原田信市
古谷史旺　山川政樹　山元俊仁
監　事　小田治親　佐々木功

総務委員会
委員長　吉田精孝
副委員長　木村高久
委　員　井上誠一　桑原　稔　坂本光雄
富田和子　羽村行弘　森正　澄
八鍬　昇　渡部敏彦

政策委員会
委員長　中島　淳
副委員長　坂口信昭
委　員　五十嵐和壽　伊藤　進　大賀眞司
黒田博道　今野耕哉　竹内　裕
三澤正義　紺野正幸

企画委員会
委員長　黒川弘朗
副委員長　齋藤美晴
委　員　秋山　修　北村　仁　小林正治
竹山宏明　鳥羽　修　山口邦夫
吉田芳春　渡邉一平

選挙対策委員会
委員長　佐藤孝雄
副委員長　天野　泉
委　員　大塚明博　木下實三　下田容一郎
須山佐一　永井義久　中澤健二
中畑　孝　中山伸治

【平成４年度】

幹事長　原田信市
副幹事長　志賀正武　絹谷信雄　中島　淳
幹　事　伊藤　進　菊池新一　木下實三
佐藤孝雄　下田容一郎　須山佐一
田辺敏郎　戸村　隆　古谷史旺
山崎輝緒　山本彰司　米屋武志
監　事　磯野道造　紺野正幸

総務委員会（担当　中島）
委員長　黒川弘朗
副委員長　永井義久
委　員　大島陽一　小川利春　高橋康夫
平山一幸　小倉正明　坂本光雄
竹山宏明　山本義明

政策委員会（担当　志賀）
委員長　佐藤孝雄
副委員長　戸村　隆
委　員　内田和男　紺野正幸　齋藤美晴
守谷一雄　天野　泉　今野耕哉

坂口信昭　本田　崇

企画委員会（担当　絹谷）
委 員 長　吉田芳春
副委員長　関口俊三
委　　員　川久保新一　富田和子　牧野剛博
村上光司　井澤　洵　鈴木次郎
西浦嗣晴　米山淑幸

選挙対策委員会（担当　原田）
委 員 長　中島　淳
副委員長　竹内　裕
委　　員　仁平　孝　松山圭佑　山田明信
渡邊喜平　大塚明博　田辺敏郎
古谷史旺　米屋武志

【平成５年度】

幹 事 長　絹谷信雄
副幹事長　磯野道造　武田賢市　中島　淳
幹　　事　（桜門）井澤　洵　田辺敏郎
森哲　也　大橋　弘
山本彰司　小池　晃
（弁ク）伊藤　進　木下實三
木村高久　佐藤孝雄
仁平　孝　山崎輝緒
監　　事　吉田精孝　中山　清

総務委員会（担当　磯野道造）
委 員 長　仁平　孝
副委員長　今野耕哉
委　　員　（桜門）羽村行弘　大塚明博
土川　晃　坂本光雄
（弁ク）川久保新一　富田和子
油井　透　村上光司

政策委員会（担当　中島　淳）
委 員 長　天野　泉
副委員長　渡邊喜平
委　　員　（桜門）中山伸治　坂口信昭
黒川弘朗　川村恭子
（弁ク）黒田博道　笹井浩毅
遠山　勉　西森浩司

企画委員会（担当　武田賢市）
委 員 長　木村高久
副委員長　秋山　修
委　　員　（桜門）長内行雄　飯田昭夫
仁科勝史　吉田芳春
（弁ク）佐藤孝雄　布施行夫
真田修治　石橋佳之夫

選挙対策委員会（担当　絹谷信雄）
委 員 長　唐木浄治
副委員長　守谷一雄
委　　員　（桜門）恩田博宣　本田　崇
古谷史旺　森哲　也
（弁ク）三澤正義　内田和男
山田明信　石川泰男

【平成６年度】

幹 事 長　米屋武志
副幹事長　天野　泉　守谷一雄　木下實三
幹　　事　（弁ク）木村高久　伊藤　進
須山佐一　中島　淳
三澤正義　永井義久
（同友）森　哲也　大橋　弘
黒川弘朗　小池　晃
吉田精孝　小林正治
監　　事　（弁ク）小田治親
（同友）山本彰司

総務委員会（担当　守谷一雄）
委 員 長　田中雅雄（同友）
副委員長　黒田博道（弁ク）
委　　員　（弁ク）原田　寛　北村　仁
渡邉一平　井上　一
（同友）今野耕哉　小倉正明
本田　崇　竹山宏明

政策委員会（担当　天野　泉）
委 員 長　木下實三（弁ク）
副委員長　古谷史旺（同友）
委　　員　（弁ク）佐藤孝雄　紺野正幸
真田修治　齋藤美晴
（同友）天野　泉　坂口信昭
大塚明博　吉田芳春

企画委員会（担当　木下實三）
委 員 長　秋山　修（同友）
副委員長　永井義久（弁ク）
委　　員　（弁ク）渡部敏彦　川久保新一
布施行夫　関口宗昭

（同友）米山叔幸　旦　武尚
羽村行弘　桑原　稔

選挙対策委員会（担当　天野　泉）
委員長　三澤正義（弁ク）
副委員長　中澤健二（同友）
委　員　（弁ク）村田幹夫　牛木　護
石川泰男　半田昌男
（同友）積田輝正　中山伸治
本宮照久　飯田昭夫

連絡協議特別委員会（担当　米屋武志）
委員長　仁平　孝（弁ク）
副委員長　井澤　洵（同友）
委　員　（弁ク）中島　淳　黒田博道
（同友）菊池新一　吉田精孝

【平成７年度】

幹事長　佐藤孝雄（弁ク）
副幹事長　小池　晃（同友）
古谷史旺（同友）
伊藤　進（弁ク）
幹　事　（同友）井澤　洵　田中雅雄
田辺敏郎　中山伸治
羽村行弘　吉田精孝
（弁ク）須山佐一　中島　淳
永井義久　仁平　孝
三澤正義　守谷一雄
監　事　（同友）積田輝正
（弁ク）土橋　皓

総務委員会（担当　小池　晃）
委員長　石川泰男（弁ク）
副委員長　小林　保（同友）
委　員　（同友）伊賀誠司　長内行雄
花村　太　山本義明
（弁ク）井上誠一　黒田　壽
塩田辰也　西森浩司

政策委員会（担当　古谷史旺）
委員長　小倉正明（同友）
副委員長　齋藤美晴（弁ク）
委　員　（同友）田村榮一　仁科勝史
本田　崇　森　哲也
（弁ク）川久保新一　中川裕幸
服部雅紀　松田雅章

企画委員会（担当　伊藤　進）
委員長　井上　一（弁ク）
副委員長　磯野道造（同友）
委　員　（同友）大貫和保　桑原　稔
中村盛夫　米山淑幸
（弁ク）関口宗昭　佐藤年哉
保立浩一　山口邦夫

選挙対策委員会（担当佐藤孝雄）
委員長　中澤健二（同友）
副委員長　守谷一雄（弁ク）
委　員　（同友）秋山　修　天野　泉
大塚明博　山田智重
（弁ク）遠山　勉　木下實三
渡邉一平　渡邊喜平

【平成８年度】

幹事長　小池　晃（同友）
副幹事長　須山佐一（弁ク）（政策・弁ク担当）
三澤正義（弁ク）（総務・人事担当）
大橋　弘（同友）（企画・同友担当）
幹　事　（弁ク）下田容一郎　木村高久
伊藤　進　紺野正幸
木下實三　黒田博道
（同友）恩田博宣　古谷史旺
坂口信昭　本田　崇
小林正治　田中雅雄
監　事　山元俊仁（弁ク）　吉田精孝（同友）
相談役　（弁ク）古谷　馨　山川政樹
絹谷信雄　佐藤孝雄
（同友）田中武文　原田信市
佐々木功　菊池新一
米屋武志

総務委員会（担当　三澤正義）
委員長　秋山　修（同友）
副委員長　真田修治（弁ク）
委　員　（弁ク）西森浩司　川久保新一
井上　一　保立浩一
（同友）中里浩一　桑原　稔
神崎正浩　米山叔幸

政策委員会（担当　須山佐一）
委員長　伊藤　進（弁ク）

副委員長　仁科勝史（同友）
委　員　（弁ク）仁平　孝　北村　仁
青木輝男　遠山　勉
（同友）森哲　也　小林　保
五十嵐和壽　羽村行弘

企画委員会（担当　大橋　弘）
委員長　坂本光雄（同友）
副委員長　井上誠一（弁ク）
委　員　（弁ク）紺野正幸　岡本啓三
開口宗昭　黒田　壽
（同友）大貫和保　中村盛夫
中村和年　旦　武尚

研修委員会（担当　大橋　弘）
委員長　高月　猛（同友）
副委員長　井上　一（弁ク）
委　員　（弁ク）中川裕幸　伊藤嘉昭
（同友）本田　崇　山田智重

選挙対策委員会（担当　小池　晃）
委員長　木下實三（弁ク）
副委員長　中山伸治（同友）
委　員　（弁ク）土橋　皓　渡邉一平
黒田博道　山口邦夫
（同友）黒川弘朗　八鍬　昇
小倉正明　伊賀誠司

【平成９年度】

幹事長　木下實三（弁ク）
副幹事長　竹内　裕（同友）
（総務・10周年（主）担当）
田辺敏郎（同友）
（企画・研修・10周年担当）
永井義久（弁ク）
（政策・選対・10周年担当）
幹　事　（弁ク）石川泰男　黒田博道
紺野正幸　須山佐一
中島　淳　三澤正義
（同友）秋山　修　大塚明博
大貫和保　小倉正明
坂本光雄　中澤健二
監　事　丹羽宏之（弁ク）　羽村行弘（同友）
相談役　（弁ク）古谷　馨　山川政樹
絹谷信雄　佐藤孝雄
（同友）田中武文　原田信市
佐々木功　菊池新一
米屋武志　小池　晃

総務委員会（担当　竹内　裕）
委員長　川久保新一（弁ク）
副委員長　米山淑幸（同友）
委　員　（弁ク）井上誠一　加藤和詳
黒田　壽　笹井浩毅
（同友）秋山　修　桑原　稔
菊池　徹　中村信彦

政策委員会（担当　永井義久）
委員長　吉田精孝（同友）
副委員長　内田和男（弁ク）
委　員　（弁ク）紺野正幸　布施行夫
保立浩一　三品岩男
（同友）大塚明博　仁科勝史
小倉正明　飯田昭夫

企画委員会（担当　田辺敏郎）
委員長　西森浩司（弁ク）
副委員長　長内行雄（同友）
委　員　（弁ク）青木輝男　石橋佳之夫
世良和信　山口邦夫
（同友）坂本光雄　旦　武尚
小川眞一　松下　満

選挙対策委員会（担当　永井義久）
委員長　中山伸治（同友）
副委員長　伊藤　進（弁ク）
委　員　（弁ク）黒田博道　齋藤美晴
須山佐一　渡邊喜平
（同友）吉田芳春　黒川弘朗
神崎正浩　藤井稔也

研修委員会（担当　田辺敏郎）
委員長　石川泰男（弁ク）
副委員長　中里浩一（同友）
委　員　（弁ク）井上　一　木村高明
塩田辰也　遠山　勉
（同友）大塚明博　小林　保
西野茂美　大賀眞司

10周年記念事業実行委員会
（担当　竹内裕（主）、田辺敏郎、永井義久）
委員長　天野　泉（同友）
副委員長　（弁ク）井上誠一　内田和男

須山佐一　遠山　勉
油井　透
（同友）唐木浄治　積田輝正
羽村行弘　吉田芳春
委　　員　（弁ク）青木輝男　伊藤　進
大島陽一　木村高久
黒田博道　黒田　壽
齋藤美晴　笹井浩毅
下田容一郎　中島　淳
中山　清　服部雅紀
布施行夫　三澤正義
山口邦夫
（同友）井澤　洵　大橋　弘
大塚明博　菊池　徹
坂本光雄　坂口信昭
丸山英一　田中雅雄
旦武　尚　中澤健二
古谷史旺　山本彰司
山田智重　吉田精孝
米山淑幸

【平成10年度】

幹 事 長　田辺敏郎（同友）
副幹事長　吉田精孝（同友）
（政策、役員協議担当）
木村高久（弁ク）
（企画、研修担当）
須山佐一（弁ク）
（総務、渉外関係担当）

幹　　事　（同友）小林正治　井澤　洵
中澤健二　本田　崇
小川眞一　五十嵐和壽
（弁ク）小田治親　伊藤　進
仁平　孝　真田修治
渡邊喜平　井上　一

監　　事　土橋　皓（弁ク）大橋　弘（同友）

相 談 役　（弁ク）古谷　馨　山川政樹
絹谷信雄　佐藤孝雄
木下實三
（同友）田中武文　原田信市
佐々木功　菊池新一
米屋武志　小池　晃

総務委員会（担当：須山佐一）
委 員 長　小倉正明（同友）
副委員長　渡邉一平（弁ク）
委　　員　（同友）清水敬一　中村盛夫
旦　武尚　伊賀誠司
（弁ク）山口邦夫　井上誠一
下田　茂　内田和男

政策委員会（担当：吉田精孝）
委 員 長　中島　淳（弁ク）
副委員長　小林正治（同友）笹井浩毅（弁ク）
委　　員　（弁ク）青木輝夫　山口邦夫
黒田　壽　大橋邦彦
布施行夫　保立浩一
半田昌男　阪本清孝
藤野清規　原田　寛
（同友）伊賀誠司　小倉正明
恩田博宣　唐木浄治
小池　晃　清水敬一
旦　武尚　原田信市
古谷史旺　米山淑幸
（監事兼任）　（同友）井澤　洵　中澤健二
本田　崇　小川眞一
五十嵐和壽
（弁ク）小田治親　伊藤　進
仁平　孝　真田修治
渡邊喜平　井上　一

企画委員会（担当：木村高久）
委 員 長　大塚明博（同友）
副委員長　小川利春（弁ク）
委　　員　（同友）長内行雄　小林　保
坂本光雄　羽村行弘
（弁ク）石橋佳之夫　牧　哲郎
渡部敏彦　西森浩司

役員協議委員会（担当：吉田精孝）
委 員 長　守谷一雄（弁ク）
副委員長　羽村行弘（同友）
委　　員　（弁ク）三澤正義　小田治親
岡本啓三　高橋康夫
木下實三　真田修治
（同友）古谷史旺　唐木浄治
大貫和保　仁科勝史
中山伸治

研修委員会（担当：木村高久）
委 員 長　大貫和保（同友）

副委員長　柿本恭成（弁ク）
委　　員　（同友）小川眞一　鈴木利明
丸山英一　中村信彦
（弁ク）石川泰男　島田康男
古谷　聡　堤　　卓

再選挙に関する特別委員会
委 員 長　木下實三（弁ク）
副委員長　守谷一雄（弁ク）羽村行弘（同友）
委　　員　（弁ク）三澤正義　小田治親
岡本啓三　高橋康夫
真田修治
（同友）古谷史旺　唐木浄治
大貫和保　仁科勝史
中山伸治

【平成11年度】

[幹事会]
幹 事 長　須山佐一（弁ク）
副幹事長　井澤　洵（同友）
（企画、研修担当）
小林正治（同友）
（政策、役員協議担当）
永井義久（弁ク）
（総務、渉外関係担当）

幹　　事（政策委員兼任）
（同友）大橋　弘　黒川弘朗
坂口信昭　森　哲也
羽村行弘　吉田芳春
（弁ク）伊藤　進　小田治親
仁平　孝　渡邊喜平
川久保新一　内田和男

監　　事　田中武文（同友）土橋　皓（弁ク）

[相談役会]
相談役
（幹事長経験者）
山川政樹（弁ク）古谷　馨（弁ク）
佐々木功（同友）菊池新一（同友）
原田信市（同友）絹谷信雄（弁ク）
米屋武志（同友）佐藤孝雄（弁ク）
小池　晃（同友）木下實三（弁ク）
田辺敏郎（同友）
（弁理士会会長経験者）
田中武文（同友）　山川政樹（弁ク）
（弁理士会常議員会議長経験者）
山元俊仁（弁ク）　天野　泉（同友）

総務委員会（担当　永井義久）
委 員 長　井上　一（弁ク）
副委員長　菊池　徹（同友）
委　　員　（弁ク）青木輝男　井上誠一
尾関伸介　笹井浩毅
（同友）羽切正治　中村信彦
山木義明　崔　秀喆

政策委員会（担当　小林正治）
委 員 長　小池　晃（同友）
｛9月以降：古谷　史旺（同友）｝
副委員長　大橋邦彦（弁ク）
中澤健二（同友）
委員(幹事兼任)
（同友）新井　全　飯田昭夫
伊賀誠司　竹内　裕
松下　満　吉田精孝
（弁ク）井上誠一　北村　仁
黒田　壽　三澤正義
山名正彦

企画委員会（担当　井澤　洵）
委 員 長　山口邦夫（弁ク）
副委員長　杉本良夫（同友）
委　　員　（弁ク）岡本啓三　亀谷美明
布施行夫　渡部敏彦
（同友）本宮照久　神崎正浩
高尾裕之　青山　仁

役員協議委員会（担当　小林正治）
委 員 長　原田信市（同友）
副委員長　内田和男（弁ク）
天野　泉（同友）
委　　員　（同友）五十嵐和壽　小川眞一
竹内　裕　中山伸治
（弁ク）川久保新一　木村高久
紺野正幸　仁平　孝
原田　寛　守谷一雄
山川政樹

調整委員会（担当　永井義久）
委 員 長　古谷史旺（同友）
副委員長　三澤正義（弁ク）

委　　員　（同友）菊池新一　原田信市
森　哲也　山本彰司
（弁ク）絹谷信雄　下田容一郎
中山　清　守谷一雄

研修委員会（担当　井澤　洵）
委 員 長　保立浩一（弁ク）
副委員長　五十嵐和壽（同友）
委　　員　（弁ク）堤　　卓　長岡　重幸
廣田浩一　油井　透
（同友）山田智重　中里浩一
米山叔幸　藤井稔也

【平成12年度】

[幹事会]
幹 事 長　古谷史旺（同友）
副幹事長　仁平　孝（弁ク）
（政策、役員協議担当）
真田修治（弁ク）
（企画、研修担当）
坂口信昭（同友）
（総務、調整、渉外関係担当）

幹　　事　（弁ク）内田和男　井上　一
中島　淳　渡邉一平
土橋　晧　永井義久
（同友）大貫和保　大塚明博
本田　崇　小倉正明
羽村行弘　田中雅雄

監　　事　積田輝正（同友）原田　寛（弁ク）

相 談 役　田中武文（同友）山川政樹（弁ク）
古谷　馨（弁ク）佐々木功（同友）
菊池新一（同友）原田信市（同友）
絹谷信雄（弁ク）佐藤孝雄（弁ク）
小池　晃（同友）木下實三（弁ク）
田辺敏郎（同友）須山佐一（弁ク）

総務委員会
委 員 長　坂本光雄（同友）
副委員長　黒田　壽（弁ク）
委　　員　（弁ク）山本晃司　伊藤嘉昭
尾川秀昭　石崎　剛
（同友）大塚明博　山木義明
菊池　徹　崔　秀喆

政策委員会
委 員 長　木下實三（弁ク）
副委員長　本田　崇（同友）
世良和信（弁ク）
委　　員　（同友）竹内　裕　中澤健二
秋山　修　小林正治
吉田芳春　小倉正明
松下　満　崔　秀喆
（弁ク）伊藤　進　齋藤美晴
亀谷美明　川久保新一
保立浩一　布施行夫

役員協議委員会
委 員 長　下田容一郎（弁ク）
副委員長　小林正治（同友）
井上　一（弁ク）
委　　員　（同友）原田信市　黒川弘朗
高野昌俊　西野茂美
本宮照久
（弁ク）永井義久　紺野正幸
小田治親　青木輝夫
北村　仁

調整委員会
委 員 長　三澤正義（弁ク）
副委員長　山本彰司（同友）
委　　員　（弁ク）絹谷信雄　木村高久
守谷一雄　須山佐一
（同友）中山伸治　菊池新一
森　哲也　天野　泉

研修委員会
委 員 長　山田智重（同友）
副委員長　木村高久（弁ク）
委　　員　（弁ク）堤　卓　高島敏郎
友野英三　坂本清孝
（同友）中村信彦　青山　仁
高田大輔　高尾裕之

企画委員会
委 員 長　長内行雄（同友）
副委員長　柿本恭成（弁ク）
委　　員　（同友）杉本良夫　伊賀誠司
丸山英一　山﨑高明
（弁ク）廣田浩一　佐藤年哉
富澤　孝　金坂憲幸

【平成13年度】

幹 事 長　中島　淳（弁ク）
副幹事長　本田　崇（同友）
（政策、研修担当）
山本彰司（同友）
（企画、役員協議担当）
伊藤　進（弁ク）
（総務、調整、渉外関係担当）

幹　　事　（弁ク）中山　清　仁平　孝
笹井浩毅　内田和男
大橋邦彦　布施行夫
（同友）唐木浄治　丸山英一
山﨑高明　五十嵐和壽
森　哲也　中山伸治

監　　事　黒川弘朗（同友）富田和子（弁ク）

相 談 役　田中武文（同友）山川政樹（弁ク）
古谷　馨（弁ク）佐々木功（同友）
菊池新一（同友）原田信市（同友）
絹谷信雄（弁ク）米屋武志（同友）
佐藤孝雄（弁ク）小池　晃（同友）
木下實三（弁ク）田辺敏郎（同友）
須山佐一（弁ク）古谷史旺（同友）

総務委員会
委 員 長　保立浩一（弁ク）
副委員長　中村盛夫（同友）
委　　員　（弁ク）尾川秀昭　阪本清孝
廣田浩一　山本晃司
（同友）中里浩一　松下　満
藤井稔也　山木義明

政策委員会
委 員 長　磯野道造（同友）
副委員長　齋藤美晴（弁ク）羽村行弘（同友）
委　　員　（弁ク）柿本邦夫　黒田勇治
仁平　孝　平山一幸
三谷　恵　三澤正義
山川茂樹
（同友）五十嵐和壽　坂口信昭
竹内　裕　田辺敏郎
中澤健二　森　哲也

役員協議委員会
委 員 長　吉田精孝（同友）
副委員長　守谷一雄（弁ク）吉田芳春（同友）
委　　員　（弁ク）小田治親　柿本恭成
北村　仁　木下實三
紺野正幸
（同友）内藤嘉昭　佐々木功
古谷史旺　仁科勝史
長内行雄

調整委員会
委 員 長　中澤健二（同友）
副委員長　木村高久（弁ク）
委　　員　（弁ク）須山佐一　真田修治
永井義久　渡邉一平
（同友）天野　泉　小林正治
中畑　孝　志賀正武

研修委員会
委 員 長　山川茂樹（弁ク）
副委員長　菊池　徹（同友）
委　　員　（弁ク）石川泰男　堀　城之
富澤　孝　木村高明
（同友）山田智重　杉本良夫
旦　武尚　青山　仁

企画委員会
委 員 長　黒田　壽（弁ク）
副委員長　川俣静子（同友）
委　　員　（弁ク）金坂憲幸　佐藤年哉
友野英三　岡本啓三
（同友）高野昌俊　竹山宏明
崔　秀喆　谷口　登

【平成14年度】

幹 事 長　小林正治（同友）
副幹事長　森　哲也（同友）
（総務、調整、渉外関係担当）
内田和男（弁ク）
（企画、研修担当）
川久保新一（弁ク）
（政策、役員協議担当）

幹　　事　（弁ク）山川政樹　牧　哲郎
青木輝夫　布施行夫

亀谷美明　保立浩一
（同友）中山伸治　唐木浄治
清水敬一　山本義明
白崎真二　宮坂　徹

監　　事　中山　清（弁ク）仁科勝史（同友）

相 談 役　田中武文（同友）山川政樹（弁ク）
古谷　馨（弁ク）佐々木功（同友）
菊池新一（同友）原田信市（同友）
絹谷信雄（弁ク）米屋武志（同友）
佐藤孝雄（弁ク）小池　晃（同友）
木下實三（弁ク）田辺敏郎（同友）
須山佐一（弁ク）古谷史旺（同友）
中島　淳（弁ク）

総務委員会
委 員 長　五十嵐和壽（同友）
副委員長　中川裕幸（弁ク）
委　　員　（弁ク）柿本邦夫　山本晃司
廣田浩一　佐原雅史
（同友）中村盛夫　松田克治
秋元芳雄　長内行雄

企画委員会
委 員 長　川俣静子（同友）
副委員長　山口義雄（弁ク）
委　　員　（弁ク）大渕美千栄　坂本清孝
金坂憲幸　金井英幸
（同友）竹山宏明　崔　秀喆
広瀬　一　谷口　登

政策委員会
委 員 長　永井義久（弁ク）
副委員長　坂口信昭（同友）
委　　員　（弁ク）伊藤　進　木下實三
齋藤美晴　井上　一
山川茂樹　友野英三
（同友）田辺敏郎　中澤健二
本田　崇　大塚明博
高野昌俊　小倉正明

役員協議委員会
委 員 長　伊藤　進（弁ク）
副委員長　中村盛夫（同友）
委　　員　（弁ク）下田容一郎　紺野正幸
仁平　孝　柿本恭成
黒田　壽
（同友）原田信市　黒川弘朗
山本彰司　古谷史旺
内藤嘉昭

研修委員会
委 員 長　長内行雄（同友）
副委員長　世良和信（弁ク）
委　　員　（弁ク）鈴木　知　山本　尚
美濃好美　塩野谷英城
（同友）五十嵐和壽　伊賀誠司
丸山英一　杉本良夫

調整委員会
委 員 長　須山佐一（弁ク）
副委員長　磯野道造（同友）
委　　員　（弁ク）中山　清　絹谷信雄
木村高久　中島　淳
（同友）佐々木功　中村政美
積田輝正　大貫和保

【平成15年度】

幹 事 長　伊藤　進（弁ク）
副幹事長　中澤健二（同友）
（政策、調整担当）
飯田昭夫（同友）
（企画、研修担当）
渡邉一平（弁ク）
（総務、役員協議、渉外担当）

幹　　事　（同友）中山伸治　大塚明博
中村盛夫　伊賀誠司
旦　武尚　高尾裕之
（弁ク）牧　哲郎　山崎輝緒
真田修治　北村　仁
井上誠一　阪本清孝

監　　事　松田克治（同友）木村高久（弁ク）

相 談 役　田中武文（同友）山川政樹（弁ク）
古谷　馨（弁ク）佐々木功（同友）
菊池新一（同友）原田信市（同友）
絹谷信雄（弁ク）米屋武志（同友）
佐藤孝雄（弁ク）小池　晃（同友）

木下實三（弁ク）田辺敏郎（同友）
須山佐一（弁ク）中島　淳（弁ク）
小林正治（同友）

総務委員会
委員長　齋藤美晴（弁ク）
副委員長　松下　満（同友）
委　員　（同友）神崎正浩　花村　太
粕川敏夫　井澤　幹
（弁ク）鈴木　知　中川裕幸
柿本邦夫　石崎　剛

企画委員会
委員長　本宮照久（同友）
副委員長　水野　清（弁ク）
委　員　（同友）長内行雄　新井　全
小島　猛　西　和哉
（弁ク）内田和男　小川利春
金坂憲幸　美濃好美

政策委員会
委員長　吉田芳春（同友）
副委員長　永井義久（弁ク）
委　員　（同友）磯野道造　小池　晃
坂口信昭　原田信市
竹内　裕　本田　崇
旦　武尚　青山　仁
（弁ク）大橋邦彦　中島　淳
三澤正義　井上　一
保立浩一　服部雅紀
今井孝弘

役員協議委員会
委員長　永井義久（弁ク）
副委員長　杉本良夫（同友）
黒田　壽（弁ク）
委　員　（同友）天野　泉　大塚明博
中村盛夫　松原　等
（弁ク）仁平　孝　川久保新一
布施行夫　山川茂樹
山本晃司

研修委員会
委員長　塩野谷英城（弁ク）
副委員長　大賀眞司（同友）
委　員　（同友）林　信之　高野昌俊
石川　憲　中原文彦
（弁ク）鈴木健治　佐原雅史
西康二郎　田中ひろみ

調整委員会
委員長　天野　泉（同友）
副委員長　中山　清（弁ク）
委　員　（同友）吉田精孝　本田　崇
山本彰司　磯野道造
（弁ク）絹谷信雄　土橋　皓
紺野正幸　小田治親

【平成16年度】

幹事長　磯野道造（同友）
副幹事長　須山佐一（弁ク）
（研修、企画担当）
永井義久（弁ク）
（政策、調整担当）
五十嵐和壽（同友）
（総務、役員協議、渉外担当）

幹　事　（弁ク）保立浩一　山川茂樹
内田和男　中川裕幸
小川利春　笹井浩毅
（同友）竹内　裕　清水　修
大貫和保　神崎正浩
伊賀誠司　石川　憲

監　事　小田治親（弁ク）大塚明博（同友）

相談役　田中武文（同友）山川政樹（弁ク）
古谷　馨（弁ク）佐々木功（同友）
菊池新一（同友）原田信市（同友）
絹谷信雄（弁ク）米屋武志（同友）
佐藤孝雄（弁ク）小池　晃（同友）
木下實三（弁ク）田辺敏郎（同友）
須山佐一（弁ク）中島　淳（弁ク）
小林正治（同友）伊藤　進（弁ク）

総務委員会
委員長　米山淑幸（同友）
副委員長　山川茂樹（会計担当）（弁ク）
委　員　（弁ク）井上誠一　美濃好美
茅野直勝　三谷　惠
（同友）花村　太　粕川敏夫
神崎正浩　小島　猛

企画委員会
委員長　金坂憲幸（弁ク）
副委員長　新井　全（同友）
委　員　（弁ク）阪本清孝　北村　仁
阿仁屋節雄　柿本邦夫
（同友）松下　満　西　和哉
旦　武尚　佐藤　陽

政策委員会
委員長　三澤正義（弁ク）
副委員長　飯田昭夫（同友）
委　員　（弁ク）亀谷美明　布施行夫
保立浩一　山川茂樹
伊藤　進　渡邉一平
（同友）長内行雄　坂口信昭
中澤健二　坂本光雄
中村盛夫　成瀬重雄

役員協議委員会
委員長　中村盛夫（同友）
副委員長　土橋　皓（弁ク）
委　員　（弁ク）保立浩一　石川泰男
平山一幸　笹井浩毅
渡邉一平
（同友）中里浩一　仁科勝史
杉本良夫　宮坂　徹

研修委員会
委員長　林　信之（同友）
副委員長　中川裕幸（弁ク）
委　員　（弁ク）鈴木　知　永岡重幸
鈴木　敦　岡田希子
（同友）中村信彦　山田智重
大賀眞司　井澤　幹

調整委員会
委員長　伊藤　進（弁ク）
副委員長　本田　崇（同友）
委　員　（弁ク）紺野正幸　中山　清
絹谷信雄　山川政樹
（同友）小池　晃　吉田精孝
中山伸治　大橋　弘

【平成17年度】

幹事長　永井義久（弁ク）
副幹事長　吉田芳春（同友）
（研修、政策、
役員協議〈後期〉担当）
小川眞一（同友）
（企画、
役員協議〈前期〉担当）
笹井浩毅（弁ク）
（総務、調整担当）

幹　事　（同友）新井　全　伊賀誠司
長内行雄　坂口信昭
坂本光雄　中村盛夫
（弁ク）鈴木　知　堤　卓
中川裕幸　中山　清
布施行夫　山本晃司

監　事　大塚明博（同友）小田治親（弁ク）

相談役　田中武文（同友）山川政樹（弁ク）
古谷　馨（弁ク）佐々木功（同友）
菊池新一（同友）原田信市（同友）
絹谷信雄（弁ク）米屋武志（同友）
小池　晃（同友）木下實三（弁ク）
田辺敏郎（同友）須山佐一（弁ク）
中島　淳（弁ク）小林正治（同友）
伊藤　進（弁ク）磯野道造（同友）

総務委員会
委員長　金坂憲幸（弁ク）
副委員長　山﨑高明（同友）
委　員　（同友）松下　満　杉本良夫
宮坂　徹　山田武史
安彦　元　関　昌充
（弁ク）井上誠一　柿本邦夫
廣田浩一　三谷　惠

企画委員会
委員長　高尾裕之（同友）
副委員長　山口義男（弁ク）
委　員　（弁ク）阿仁屋節雄　井上誠一
（同友）新井　全　杉本良夫
吉村俊一

政策委員会
委 員 長　川久保新一（弁ク）
副委員長　坂本光雄（同友）
委　　員　（同友）坂口信昭　中村盛夫
成瀬重雄
（弁ク）木下實三　中島　淳
井上　一　黒田　壽
山川茂樹　田中ひろみ

役員協議委員会
委 員 長　長内行雄（同友）
副委員長　紺野正幸（弁ク）
副委員長　菊池　徹（同友）
委　　員（弁ク）水野　清　服部雅紀
山川茂樹　山本晃司
（同友）中澤健二　仁科勝史
伊賀誠司　崔　秀喆
小島　猛

研修委員会
委 員 長　小川利春（弁ク）
副委員長　林　信之（同友）
委　　員　（同友）青山　仁
（弁ク）北村　仁　永岡重幸
鈴木　敦

能力担保専門委員
（同友）山本彰司　五十嵐和壽
本宮照久　中村信彦
（弁ク）原田　寛　尾川秀昭
服部雅紀　河部秀男
赤羽良之

調整委員会
委 員 長　本田　崇（同友）
副委員長　渡邉一平（弁ク）
委　　員　（弁ク）下田容一郎　川久保新一
（同友）吉田精孝　丸山英一

【平成18年度】

幹 事 長　吉田芳春（同友）
副幹事長　三澤正義（弁ク）
（役員協議、政策担当）
長内行雄（同友）
（総務、調整担当）
井上誠一（弁ク）
（研修、企画担当）

幹　　事　（弁ク）服部雅紀　金坂憲幸
川久保新一　小川利春
永岡重幸　美濃好美
（同友）磯野道造　坂口信昭
小林正治　五十嵐和壽
小林　保　杉本良夫

監　　事　真田修治（弁ク）大貫和保（同友）

相 談 役　田中武文（同友）山川政樹（弁ク）
古谷　馨（弁ク）佐々木功（同友）
菊池新一（同友）原田信市（同友）
絹谷信雄（弁ク）米屋武志（同友）
小池　晃（同友）木下實三（弁ク）
田辺敏郎（同友）須山佐一（弁ク）
中島　淳（弁ク）小林正治（同友）
伊藤　進（弁ク）磯野道造（同友）
永井義久（弁ク）

総務委員会
委 員 長　山崎高明（同友）
副委員長　美濃好美（弁ク）
委　　員　（弁ク）今井孝弘　柿本邦夫
（同友）山田武史　宮坂　徹
松下　満　杉本良夫
安彦　元　関　昌充

役員協議委員会
委 員 長　須山佐一（弁ク）
副委員長　磯野道造（同友）紺野正幸（弁ク）
委　　員　（同友）井澤　幹　菊池　徹
小島　猛　藤浪一郎
堂本　環　古川友美
丸山英一
（弁ク）小川利春　金坂憲幸
塩野谷英城　布施行夫
山口義雄　山本晃司

研修委員会
委 員 長　成瀬重雄（同友）
副委員長　布施行夫（弁ク）
委　　員　（弁ク）小川利春　長谷川靖
三谷　恵
（同友）林　信之　中村信彦

山田　武史

企画委員会
委員長　永岡重幸（弁ク）
副委員長　粕川敏夫（同友）
（同友）松下　満　花村　太
中原文彦
（弁ク）柿本邦夫　阿仁屋節雄
山口義雄

政策委員会
委員長　崔　秀喆（同友）
副委員長　廣瀬隆行（弁ク）
委　員　（弁ク）保立浩一　笹井浩毅
鈴木喜三郎　田中ひろみ
井上　一　今井孝弘
岡田希子　奥田　誠
金坂憲幸　上條由紀子
茅野直勝　川久保新一
木下實三　小林　浩
佐成重範　永井義久
永岡重幸　服部雅紀
美濃好美　山本晃司
中島　淳　山川茂樹
（同友）丸山英一　小林　保
小林正治　坂本光雄
本宮照久　菊池　徹
杉本良夫　坂口信昭

調整委員会
委員長　永井義久（弁ク）
副委員長　山本彰司（同友）
委　員　（同友）吉田精孝　丸山英一
（弁ク）下田容一郎　川久保新一

【平成19年度】

幹事長　川久保新一（弁ク）
副幹事長　天野　泉（同友）
（20周年記念事業担当）
井上　一（弁ク）
（総務、政策、調整担当）
丸山英一（同友）
（企画、役員協議、
研修担当）

幹　事　（同友）坂口信昭　五十嵐和壽
坂本光雄　伊賀誠司
杉本良夫　中原文彦
（弁ク）小川利春　井上誠一
塩野谷英城　永岡重幸
服部雅紀　三澤正義

監　事　真田修治（弁ク）大貫和保（同友）

相談役　（同友）田中武文　佐々木功
菊池新一　原田信市
米屋武志　小池　晃
田辺敏郎　小林正治
磯野道造　吉田芳春
（弁ク）伊藤　進　木下實三
絹谷信雄　須山佐一
永井義久　中島　淳
古谷　馨　山川政樹

総務委員会
委員長　中川裕幸（弁ク）
副委員長　中原文彦（同友）
委　員　（同友）旦　武尚　花村　太
小島　猛
（弁ク）奥川勝利　茅野直勝

政策委員会
委員長　山本晃司（弁ク）
副委員長　本宮照久（同友）
委　員　（同友）坂本光雄　田中雅雄
崔　秀喆　山田武史
石川　憲
（弁ク）保立浩一　廣瀬隆行
奥　和幸　住吉勝彦
田中ひろみ

役員協議委員会
委員長　小川眞一（同友）
副委員長　亀谷美明（弁ク）
委　員　（弁ク）平山一幸　布施行夫
柿本邦夫
（同友）伊賀誠司　粕川敏夫
高尾裕之

調整委員会
委員長　渡邉一平（弁ク）

副委員長　山本彰司(同友)
委　　員　選任なし

研修委員会
委 員 長　米山淑幸(同友)
副委員長　今井孝弘(弁ク)
委　　員（弁ク）絹谷晴久　須山英明
長谷川靖
（同友）中村信彦　三島広規
小島　猛

企画委員会
委 員 長　菊池　徹(同友)
副委員長　山本寿武(弁ク)
委　　員（弁ク）阿仁屋節雄　奥田　誠
鈴木喜三郎　山口義雄
（同友）青山　仁　高尾裕之
本宮照久

20周年記念事業実行委員会
委 員 長　永井義久(弁ク)
副委員長　伊賀誠司(同友)
部 会 長　〈式　典〉黒田　壽(弁ク)
部 会 長　〈祝賀会〉小川眞一(同友)
委　　員　（同友）伊賀誠司　新井　全
中村盛夫　崔　秀喆
粉川敏夫　杉本良夫
（弁ク）茅野直勝　原田　寛
山口邦夫　中川裕幸
伊藤信和　柿本邦夫
鈴木　知

【平成20年度】

幹 事 長　小川眞一(同友)
副幹事長　亀谷美明(弁ク)
(政策、役員協議担当)
中川裕幸(弁ク)
(研修、企画担当)
伊賀誠司(同友)
(総務、調整担当)

幹　　事　（弁ク）金坂憲幸　塩野谷英城
鈴木　知　永井義久
永岡重幸　三澤正義
（同友）新井　全　坂本光雄
中原文彦　萼　経夫
松下　満　山木義明

監　　事　真田修治(弁ク)　坂口信昭(同友)

相 談 役　（弁ク）伊藤　進　川久保新一
木下實三　絹谷信雄
須山佐一　永井義久
中島　淳　古谷　馨
山川政樹
（同友）磯野道造　菊池新一
小池　晃　小林正治
佐々木功　田中武文
田辺敏郎　原田信市
吉田芳春　米屋武志

総務委員会
委 員 長　中原文彦(同友)
副委員長　住吉勝彦(弁ク)
委　　員　（弁ク）鈴木　知　柿本邦夫
小國泰弘
（同友）菊池　徹　宮坂　徹
山田武史

政策委員会
委 員 長　住吉勝彦(弁ク)
副委員長　本田　淳(同友)
委　　員　（同友）森　哲也　天野　泉
竹内　裕　小池　晃
古谷史旺　吉田芳春
丸山英一　山田武史
長内行雄　笹川　拓
関　昌充　笹野拓馬
（弁ク）世良和信　川久保新一
井上　一　金坂憲幸
山本寿武　奥田　誠
伊藤信和　今井孝弘
上條由紀子　奥　和幸
恒川圭志　及川　周
國井久美子　森岡嗣象
高橋史保

企画委員会
委 員 長　長内行雄(同友)
副委員長　瀧澤匡則(弁ク)
委　　員　（弁ク）加藤和孝　村井弘実

（同友）菊池　徹　谷山尚史
井澤　幹

研修委員会
委 員 長　奥　和幸（弁ク）
副委員長　大塚明博（同友）
委　　員　（弁ク）今井孝弘　加藤政之
石戸孝則

調整委員会
委 員 長　山本彰司（同友）
副委員長　三澤正義（弁ク）
委　　員　（弁ク）下田容一郎　伊藤　進
（同友）古谷史旺　丸山英一

役員協議委員会
委 員 長　保立浩一（弁ク）
副委員長　吉田芳春（同友）

【平成21年度】

幹 事 長　渡邉一平（弁ク）
副幹事長　本宮照久（同友）
（企画、研修担当）
山﨑高明（同友）
（政策、役員協議担当）
黒田　壽（弁ク）
（総務、調整担当）

幹　　事　（同友）新井　全　坂本光雄
松下　満　山木義明
菊池　徹　大塚明博
（弁ク）小川利春　井上誠一
塩野谷英城　今井孝弘
山川茂樹　山口義雄

監　　事　坂口信昭（同友）
真田修治（弁ク）

相 談 役　（同友）田中武文　佐々木功
菊池新一　原田信市
米屋武志　小池　晃
田辺敏郎　古谷史旺
小林正治　磯野道造
吉田芳春　小川眞一
（弁ク）伊藤　進　川久保新一
木下實三　絹谷信雄
須山佐一　永井義久
中島　淳　古谷　馨
山川政樹

総務委員会
委 員 長　永岡重幸（弁ク）
副委員長　吉村俊一（同友）
委　　員　（同友）青山　仁　笹川　拓
関　昌充
（弁ク）山川茂樹　柿本邦夫
奥　和幸

政策委員会
委 員 長　森　哲也（同友）
副委員長　山本晃司（弁ク）
委　　員　（弁ク）伊藤　進　井上誠一
及川　周　奥　和幸
川久保新一　川守田光紀
國井久美子　住吉勝彦
世良和信　永井義久
永岡重幸　山川茂樹
梶　俊和
（同友）天野　泉　小川眞一
小池　晃　笹川　拓
笹野拓馬　関　昌充
竹内　裕　恒川圭志
古谷史旺　本田　淳
丸山英一　山﨑高明
山田武史　吉田芳春

役員協議委員会
委 員 長　吉田芳春（同友）
副委員長　保立浩一（弁ク）

調整委員会
委 員 長　三澤正義（弁ク）
副委員長　山本彰司（同友）
委　　員　（同友）天野　泉　古谷史旺
（弁ク）伊藤　進　下田容一郎

研修委員会
委 員 長　中原文彦（同友）
副委員長　鈴木　敦（弁ク）
委　　員　（弁ク）住吉勝彦
（同友）山田武史

企画委員会
委員長　梶　俊和（弁ク）
副委員長　中原文彦（同友）
委　員　（同友）井澤　幹　本田　淳
（弁ク）山口義雄　瀧澤匡則

【平成22年度】

幹事長　亀谷美明（弁ク）
副幹事長　田中雅雄（同友）
山川茂樹（弁ク）
吉村俊一（同友）

幹　事　（同友）大塚明博　坂本光雄
山木義明　松下　満
新井　全　菊池　徹
（弁ク）小川利春　岡本啓三
井上誠一　山本晃司
永岡重幸　今井孝弘

監　事　坂口信昭（同友）齋藤美晴（弁ク）

相談役　（同友）原田信市　佐々木功
磯野道造　菊池新一
小池　晃　田辺敏郎
古谷史旺　小林正治
吉田芳春　小川眞一
（弁ク）古谷　馨　山川政樹
絹谷信雄　伊藤　進
須山佐一　中島　淳
木下實三　永井義久
川久保新一　渡邉一平

総務委員会
委員長　住吉勝彦（弁ク）
副委員長　本田　淳（同友）
委　員　松本一騎（弁ク）
長野みか（弁ク）

政策委員会
委員長　山本晃司（弁ク）
副委員長　藤井稔也（同友）
（同友）天野　泉　竹内　裕
小池　晃　古谷史旺
吉田芳春　丸山英一
山田武史　本田　淳
（弁ク）伊藤　進　内田和男
永井義久　川久保新一
井上誠一　永岡重幸
奥　和幸　住吉勝彦
梶　俊和

役員協議委員会
委員長　丸山英一（同友）（4/1～）
副委員長　鈴木　知（弁ク）
委　員　（弁ク）小國泰弘　絹谷晴久
潮　太朗
（同友）中村盛夫　坂本光雄
藤井稔也　林　信之
笹川　拓　本田　淳

調整委員会
委員長　田辺敏郎（同友）
副委員長　伊藤　進（弁ク）
委　員　山本彰司（同友）

研修委員会
委員長　今井孝弘（弁ク）
副委員長　山田武史（同友）
委　員　中原文彦（同友）

企画委員会
委員長　佐尾山和彦（同友）
副委員長　伊藤信和（弁ク）
委　員　（弁ク）山本寿武　奥　和幸
（同友）菊池　徹　古川友美

【平成23年度】

選任なし

【平成24年度】

幹事長　古谷史旺（同友）
副幹事長　中川裕幸（弁ク）
山川茂樹（弁ク）
小川眞一（同友）

幹　事　（弁ク）柿本邦夫　塩野谷英城
絹谷晴久　木戸基文
（同友）大塚明博　坂本光雄
山木義明　松下　満

新井　全　菊池　徹

監　　事　齋藤美晴（弁ク）坂口信昭（同友）

相 談 役　（弁ク）古谷　馨　山川政樹
絹谷信雄　伊藤　進
須山佐一　中島　淳
木下實三　永井義久
川久保新一
（同友）原田信市　佐々木功
磯野道造　菊池新一
小池　晃　田辺敏郎
古谷史旺　小林正治
吉田芳春　小川眞一

総務委員会
委 員 長　中原文彦（同友）
副委員長　小國泰弘（弁ク）

その他の委員会については、立ち上げず

【平成25年度】

幹 事 長　丸山英一（同友）
副幹事長　中川裕幸（弁ク）
山本晃司（弁ク）
吉村俊一（同友）

幹　　事　（弁ク）木下實三　井上誠一
岸本達人　永岡重幸
滝澤匡則　野崎俊剛
（同友）田中雅雄　山崎高明
山田武史　中原文彦
安彦　元　井澤　幹

監　　事　坂口信昭（同友）真田修治（弁ク）

相 談 役　（弁ク）古谷　馨　山川政樹
絹谷信雄　伊藤　進
須山佐一　中島　淳
木下實三　永井義久
川久保新一
（同友）原田信市　佐々木功
磯野道造　菊池新一
小池　晃　田辺敏郎
古谷史旺　小林正治
吉田芳春　小川眞一

総務委員会
委 員 長　安彦　元（同友）
副委員長　滝澤匡則（弁ク）

政策委員会
委 員 長　永岡重幸（弁ク）
副委員長　山崎高明（同友）

役員協議委員会
委 員 長　井澤　幹（同友）
副委員長　井上誠一（弁ク）

調整委員会
委 員 長　木下實三（弁ク）
副委員長　田中雅雄（同友）

研修委員会
委 員 長　野崎俊剛（弁ク）
副委員長　山田武史（同友）

企画委員会
委 員 長　中原文彦（同友）
副委員長　岸本達人（弁ク）

【平成26年度】

幹 事 長　山川茂樹（弁ク）
副幹事長　青山　仁（同友）
（企画委員会、研修委員会）
井澤　幹（同友）
（役員協議委員会、調整委員会）
鈴木　知（弁ク）
（総務委員会、政策委員会）

幹　　事　（同友）丸山英一　山崎高明
笹川　拓　茜ヶ久保公二
岩田克子　本田　淳
（弁ク）世良和信　渡邉一平
岸本達人　小國泰弘
梶　俊和　絹谷晴久

監　　事　坂口信昭（同友）真田修治（弁ク）

相 談 役　（同友）原田信市　佐々木功

磯野道造　菊池新一
小池　晃　田辺敏郎
古谷史旺　小林正治
吉田芳春　小川眞一
丸山英一
（弁ク）古谷　馨　山川政樹
絹谷信雄　伊藤　進
須山佐一　中島　淳
木下實三　永井義久
川久保新一　渡邉一平

総務委員会
委員長　塩野谷英城（弁ク）
副委員長　本田　淳（同友）
委　員　（同友）笹野拓馬　石井理太
（弁ク）柿本邦夫　飛田高介

政策委員会
委員長　山﨑高明（同友）
副委員長　瀧澤匡則（弁ク）
委　員　（弁ク）伊藤　進　永井義久
渡邉一平　岸本達人
岡田希子　永岡重幸
小國泰弘　今堀克彦
須山英明　奥川勝利
内野則彰　岩田耕一
富澤　正　野崎俊剛
（同友）竹内　裕　仁科勝史
吉田芳春　長内行雄
伊賀誠司　丸山英一
山田武史　笹川　拓
恒川圭志　石川　憲
井澤　幹　笹野拓馬
茂木康彦　大和田昭彦

企画委員会
委員長　小田原敬一（弁ク）
副委員長　岩田克子（同友）
委　員　（同友）仲村圭代　駒場大視
（弁ク）奥川勝利　潮　太朗

役員協議委員会
委員長　永岡重幸（弁ク）
副委員長　茜ヶ久保公二（同友）
委　員　（同友）田辺　恵　藤浪一郎
徳増あゆみ　飯野智史
須田守一
（弁ク）船津暢宏　小國泰弘
美川公司　梶　俊和

調整委員会
委員長　丸山英一（同友）
副委員長　伊藤　進（弁ク）
委　員　（弁ク）船津暢宏　山本晃司
（同友）田中雅雄　粕川敏夫

研修委員会
委員長　笹川　拓（同友）
副委員長　三輪浩誉（弁ク）
委　員　（弁ク）松本一騎
（同友）山田武史

【平成 27 年度】

幹事長　山本晃司（弁ク）
副幹事長　永岡重幸（弁ク）
（企画委員会、研修委員会）
森　俊秀（同友）
（総務委員会、政策委員会）
石川　憲（同友）
（役員協議委員会、調整委員会）

幹　事　（同友）小川眞一　山田武史
吉村俊一　安彦　元
本田　淳　大橋剛之
（弁ク）世良和信　渡邉一平
岸本達人　小國泰弘
梶　俊和　絹谷晴久

監　事　真田修治（弁ク）坂本光雄（同友）

相談役　（同友）原田信市　佐々木功
磯野道造　菊池新一
小池　晃　田辺敏郎
古谷史旺　小林正治
吉田芳春　小川眞一
丸山英一
（弁ク）古谷　馨　山川政樹
絹谷信雄　伊藤　進
須山佐一　中島　淳
木下實三　永井義久
川久保新一　渡邉一平

山川茂樹

委　員　会

総務委員会

委 員 長　大橋剛之(同友)

副委員長　飛田高介(弁ク)

委　　員　(同友) 茂木康彦　陸名智之

(弁ク) 柿本邦夫　佐々木まどか

政策委員会

委 員 長　三輪浩誉(弁ク)

副委員長　本田　淳(同友)

委　　員　(同友) 坂口信昭　飯田昭夫

中村盛夫　伊賀誠司

関　昌充　井澤　幹

(弁ク) 伊藤　進　濱田百合子

松本一騎　熊井　寛

野崎俊剛　美川公司

企画委員会

委 員 長　安彦　元(同友)

副委員長　奥　和幸(弁ク)

委　　員　(同友) 徳増あゆみ　駒場大視

(弁ク) 柿本邦夫　永井　望

役員協議委員会

委 員 長　吉村俊一(同友)

副委員長　梶　俊和(弁ク)

委　　員　丸山英一(同友)

調整委員会

委 員 長　伊藤　進(弁ク)

副委員長　小川眞一(同友)

委　　員　(同友) 田辺敏郎

(弁ク) 船津暢宏　黒田　壽

瀧澤匡則

研修委員会

委 員 長　野崎俊剛(弁ク)

副委員長　山田武史(同友)

委　　員　(同友) 笹川　拓

(弁ク) 下田憲雅

【平成 28 年度】

幹 事 長　石川　憲(同友)

副幹事長　船津暢宏(弁ク)

(役員協議、調整)

梶　俊和(弁ク)

(政策、企画、研修)

笹野拓馬(同友)

(総務、30 周年準備)

幹　　事　(同友) 小林　保　長内行雄

小川眞一　山田武史

本田　淳　徳増あゆみ

(弁ク) 永井義久　中川裕幸

山本晃司　岸本達人

須山英明　瀧澤匡則

監　　事　中村盛夫(同友)　真田修治(弁ク)

相 談 役　(同友) 原田信市　佐々木功

磯野道造　菊池新一

小池　晃　田辺敏郎

古谷史旺　小林正治

吉田芳春　小川眞一

丸山英一

(弁ク) 古谷　馨　山川政樹

絹谷信雄　伊藤　進

須山佐一　中島　淳

木下實三　永井義久

川久保新一　渡邉一平

山川茂樹　山本晃司

委　員　会

総務委員会

委 員 長　中川裕幸(弁ク)

副委員長　笹川　拓(同友)

委　　員　(同友) 松本直子

(弁ク) 佐々木まどか　高橋　堅

政策委員会

委 員 長　小林　保(同友)

副委員長　小田原敬一(弁ク)

委　　員　(同友) 古谷史旺　関　昌充

井澤　幹　田辺　恵

高下雅弘

（弁ク）伊藤　進　山本晃司
岡田希子　永岡重幸
小國泰弘　今堀克彦
須山英明　奥川勝利
岩田耕一　富澤　正

企画委員会
委員長　須山英明（弁ク）
副委員長　吉田倫太郎（同友）
委　員　（同友）本田　淳　川崎ひかり
（弁ク）小國泰弘　下田憲雅

役員協議委員会
委員長　山川茂樹（弁ク）
副委員長　井澤　幹（同友）
委　員　（同友）安彦　元　山下幸彦
（弁ク）小國泰弘　絹谷晴久

調整委員会
委員長　長内行雄（同友）
副委員長　山川茂樹（弁ク）
委　員　（同友）小川眞一　吉村俊一
（弁ク）岸本達人　瀧澤匡則

研修委員会
委員長　山田武史（同友）
副委員長　飛田高介（弁ク）
委　員　（同友）横田香澄
（弁ク）柿本邦夫

30周年記念事業準備委員会
委員長　粕川敏夫（同友）
副委員長　永井義久（弁ク）
委　員　（同友）古谷史旺
（弁ク）永岡重幸

【平成29年度】

幹事長　粕川敏夫（同友）

副幹事長　塩野谷英城（弁ク）
（政策、役員協議、調整）
絹谷晴久（弁ク）
（企画、研修）
笹川　拓（同友）
（総務、30周年記念事業）

幹　事　（同友）小林　保　小川眞一
丸山英一　吉村俊一
石川　憲　松本直子
（弁ク）永井義久　船津暢宏
中川裕幸　岸本達人
瀧津匡則　熊井　寛

監　事　長内行雄（同友）　真田修治（弁ク）

相談役　（同友）原田信市　菊池新一
小池　晃　田辺敏郎
古谷史旺　小林正治
吉田芳春　小川眞一
丸山英一　石川　憲
（弁ク）古谷　馨　山川政樹
絹谷信雄　伊藤　進
須山佐一　中島　淳
木下實三　永井義久
川久保新一　渡邉一平
山川茂樹　山本晃司

委員会
総務委員会
委員長　小野友彰（同友）
副委員長　今堀克彦（弁ク）
委　員　（同友）笹野拓馬
（弁ク）須山英明　三苫貴織

政策委員会
委員長　船津暢宏（弁ク）
副委員長　古谷史旺（同友）
委　員　（同友）坂口信昭　伊賀誠司
関　昌充　田辺　恵
茂木康彦　松本直子
（弁ク）伊藤　進　中島　淳
永井義久　山本晃司
永岡重幸　今堀克彦
三輪浩誉　須山英明
奥川勝利　小田原敬一
富澤　正

企画委員会
委員長　笹野拓馬（同友）
副委員長　熊井　寛（弁ク）
委　員　（同友）山下幸彦　川崎ひかり
（弁ク）權正英樹　瀧澤匡則

役員協議委員会

委 員 長　石川　憲（同友）
副委員長　岸本達人（弁ク）
委　　員　（同友）藤井稔也　藤浪一郎
　　（弁ク）大渕美千栄　小林　功

調整委員会

委 員 長　中川裕幸（弁ク）
副委員長　丸山英一（同友）
委　　員　（同友）小川眞一　高下雅弘
　　（弁ク）岸本達人

研修委員会

委 員 長　伊藤信和（弁ク）
副委員長　横田香澄（同友）
委　　員　（同友）徳増あゆみ
　　（弁ク）柿本邦夫　中川裕幸

30周年記念事業実行委員会

委　員　長　青山　仁（同友）
副 委 員 長　永井義久（弁ク）
式典部会長　吉村俊一（同友）
祝賀会部会長　山川茂樹（弁ク）
記念誌部会長　松本直子（同友）
委　　員　（同友）古谷史旺　小野友彰
　　田辺　恵　岩田克子
　　笹野拓馬　徳増あゆみ
　　坂口吉之助　保屋野光繁
　　（弁ク）永岡重幸　今堀克彦
　　三苫貴織　新井　宏
　　橘　祐史　美川公司
　　夏目洋子　尾崎祐朗
　　張　華威

弁理士連合クラブ会則

（昭和62年9月29日創立総会、即日施行）

第1章　総　則

（名　称）

第１条　・本会は、弁理士連合クラブと称する。

（目　的）

第２条　・本会は、知的財産権制度及び弁理士制度の改善と向上を図ることを目的とする。

（組　織）

第３条　・本会は、第２条に掲げる目的に賛同する弁理士団体及びその団体に属する弁理士をもって組織する。

（事務所）

第４条　・本会の事務所は、東京都に置き、その場所は幹事会が定める。

（入退会）

第５条　・本会に入会し又は退会する弁理士団体は、入会届又は退会届を幹事会に提出し、その承認を得なければならない。

第2章　総　会

（総　会）

第６条　・総会は、定時総会と臨時総会とする。

・定時総会は年２回２月、並びに９月又は10月に開き、臨時総会は随時開く。

（権　限）

第７条　・総会は、次の事項を審議する。

1）予算の議決及び決算の承認に関する事項

2）会則の制定、変更又は廃止に関する事項

3）役員、相談役及び顧問の選任に関する事項

4）日本弁理士会役員候補の推薦に関する事項

5）その他、幹事会において総会に付することを相当と認めた事項

（召　集）

第８条　・総会は、幹事長が召集する。

・総会招集通知には、会議に日時、場所及び会議の目的事項を示さなければならない。

（議長及び議事）

第９条　・総会の議長は、幹事長をもってこれに充てる。

・議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。

第3章　役　員

（役　員）

第10条　・本会に次の役員を置く。

1）幹事長１人

2）副幹事長若干人

3）幹事若干人

4）監事若干人

幹事長は、日本弁理士会の会長又は副会長を経験した者でなければならない。

役員は、総会において選任し、その任期は、選任された年の翌年１月１日から12月31日までとする。

（幹事会）

第11条　・幹事長、副幹事長及び幹事で幹事会を組織する。

・会務の執行は、幹事会がこれを決する。

・議事は、出席した副幹事長及び幹事の過半数をもって決し、可否同数のときは、幹事長がこれを決する。

第11条の2　・幹事長及び副幹事長で正副幹事長会を組織する。

（幹事長）
第12条　・幹事長は、幹事会を招集し、その議長となり、幹事会を統括する。
・幹事長は、本会を代表する。
・副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときは、弁理士登録の順序により幹事長の職務を代行する。

（報告等）
第13条　・幹事長は、委員会に出席して、会務の状況を報告し、又は意見を述べることができる。

（監　事）
第14条　・監事は、本会の財務を監査する。

第４章　委員会

（委員会）
第15条　・本会に次の委員会を置く。
1）総務委員会
2）政策委員会
3）企画委員会
4）役員協議委員会
・幹事会は、必要に応じて特定の事項を行わせるため、特別委員会を置くことができる。

（委員選任）
第16条　・委員は、幹事会において選任する。
・委員の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。ただし、特別委員会の委員の任期は幹事会が定める。
・委員の任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでは、なおその職責に任ずるものとする。

（正副委員長）
第17条　・委員会に委員長１人、副委員長若干人をおく。委員長及び副委員長は、毎年最初の委員会において委員が互選する。
・委員長は、委員会を招集し、その議長となり、委員会を統括する。
但し、毎年最初の委員会は、幹事長がこれを召集する。
・委員長は委員会を代表する。
・副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、弁理士登録の順序により、委員長の職務を代行する。

（委員会の会議）
第18条　・議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長がこれを決する。

（委員会の職務）
第19条　・各委員は、次の事項を行うことを職務とする。
1）総務委員会は、会員の連絡及び会議場所等の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会に属さない事項を行う。
2）政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。
3）企画委員会は、本会の運営の改善及び新規会員の増加策等の調査、研究並びに機関誌の編集、発行に関する事項を行う。
4）役員協議委員会は、日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙運動の統括を行う。

第５章　相談役及び顧問

（相談役及び顧問）
第20条　・本会に相談役及び顧問をおくことができる。
・相談役は、本会の幹事長を経験した者、日本弁理士会の会長又は監事長若しくは常議員会議長を経験した者の中から選任する。
・相談役は相談役会を構成する。
・相談役会は、会務について幹事長の諮問に応える。
・相談役及び顧問の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。

第6章　会　計

（会計年度）

第21条 ・本会の会計年度は、毎年１月１日に始まり、12月31日に終わる。

（特別会計）

第22条 ・日本弁理士会の役員選挙に関する費用の支弁は、特別会計とする。

（経　　費）

第23条 ・本会の経費は、本会の属する弁理士団体の分担金、寄付金その他の収入で支弁する。

（監査報告）

第24条 ・監事は、監査を定時総会で報告しなければならない。

第７章　規則の制定

（規則の制定）

第25条 ・幹事会は、会務の執行上必要と認めた場合には、幹事会の決議により規則を定めることができる。

第８章　会則等の改正

（会則の改正）

第26条 ・本会則を改正するには、総会出席会員の３分の２以上の同意がなければならない。

（規則の改正）

第27条 ・規則の変更又は廃止は、幹事会の決議により行われなければならない。

附　則

１．この会則は、昭和62年９月29日から施行する。
２．昭和62年度の役員及び顧問の任期は、昭和62年９月29日から昭和63年３月31日までとする。
３．昭和62年度の会計年度は、昭和62年９月29日から昭和63年３月31日までとする。
４．この会則の一部改正は、平成５年５月17日から施行する。
５．平成５年度の相談役の任期は、平成５年５月17日から翌年３月31日までとする。
６．この会則の一部改正は、平成11年５月21日から施行する。
７．この会則の一部改正は、平成13年１月25日から施行する。
８．この会則の一部改正は、平成15年８月８日から施行する。
９．㈰この会則の一部改正中第10条の規定は、平成16年９月22日から施行し、第６条、第16条、第20条、第21条の規定は、平成17年１月１日から施行する。
㈪平成16年度の会計年度は、平成16年４月１日から平成16年12月31日までとする。
㈫平成16年度の役員、委員、相談役及び顧問の任期は、平成16年４月１日から平成16年12月31日までとする。
10．この会則の一部改正は、平成19年２月27日から施行する。

弁理士連合クラブ慶弔規則

第１条(目的)

この規則は、弁理士連合クラブ(以下本クラブという)会員又は会員以外の弁理士の慶事、弔事、罹災等に関して、本クラブが祝意、弔慰を表わし、あるいは見舞いを行うに当たっての基礎を設けることを目的とする。

第２条

(1)慶事に関する祝意は下記の方法によって表わす。

(ⅰ)会員又は会員以外の弁理士が叙勲を受け、褒章を受章したときは祝電

(ⅱ)会員が結婚したときは祝電

(2)会員の慶事に本クラブが招待されたときは、幹事会の決定に基づいて金員を贈り祝意を表わすことができる。

第３条

弔事に関する弔慰は下記の方法によって表わす。

(1)下記の者が死亡したときは弔電

(ⅰ)会員

(ⅱ)会員以外の日本弁理士会会長又は副会長経験者

(2)下記の者が死亡したときは弔電のほか花輪、生花又は香典

(ⅰ)本クラブ幹事長又はその経験者

(ⅱ)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長の５回以上の経験者

(ⅲ)会員以外の者であって日本弁理士会会長経験者又は現職の日本弁理士会会長又は副会長

第４条(罹災)

下記の者が、病気、怪我その他の事故等の罹災により、２ヵ月以上執務し得ないときは品物を送り見舞いの意を表わす。

(1)本クラブ幹事長又はその経験者

(2)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長を５回以上経験した者

第５条(額の決定)

この規則における弔事に関し贈られる花輪、生花、香典及び見舞いのために贈られる品物の金額は、幹事会において予めこれを定める。

第６条(特　則)

この規則に定めない事項に関し、幹事会において慶弔の意を表わす必要があると特に認めたときは、幹事会の決定によってこれを行うことができる。

付　則

この規則は平成元年１月17日より施行する。

この規則の一部改正は平成13年１月25日から施行する。

「特別寄付金」を求めるときの運用基準

（目　的）

第１条　この運用基準は、弁理士連合クラブ（以下、本会という。）の会務運営に必要な特別寄付金について定める。

（対象者）

第２条　特別寄付金を求める対象者は、日本弁理士会会長、同副会長、同監事長、同副監事長、同常議員会議長、同副議長、本会の幹事長、同副幹事長及びこれらの経験者（本会設立前の経験者を除く。）とする。

（基　準）

第３条　特別寄付金の基準は以下のとおりとする。

1．日本弁理士会会長又は同経験者……年６口
2．同　　副会長又は同経験者……年２口
3．同監事長又は常議員会議長若しくは同経験者……年４口
4．同副監事長又は副議長若しくは同経験者……年１口
5．本会の幹事長又は同経験者……年３口
6．同　　副幹事長又は同経験者……年１口

1口10,000円とする。但し、幹事会は諸般の事情を考慮して金額の増減を行うことができる。

（適用順位）

第４条　対象者が前条で定める基準に複数該当するときは、口数の最も多い方を適用する。

（求めの手続及び時期）

第５条　特別寄付金の求めは、年度初頭に定める本会予算に基づいて毎会計年度中に行うこととする。

第６条　この運用基準は、原則として満70歳以上の者については適用しない。

《注》・平成12年度第7回幹事会（平成12年12月21日開催）で決議
・平成12年度第2回総会（平成13年１月25日開催）にて報告
・平成12年度第8回幹事会（平成13年３月29日開催）で、第６条の追加を決議

編　集　後　記

本年度も無事に、機関誌『連合』No.29を発行することができました。昨年度は創立30周年記念の特別号でしたが、本年度は例年同様のコンテンツで多くの先生方にご執筆いただきました。お忙しい中、ご寄稿いただきました先生方には深く感謝申し上げます。

企画委員会では、本機関誌の発行に加えて、親睦旅行会の準備・運営を行っています。本年度の日本弁理士会役員選挙では残念な結果となってしまいましたが、旅行会では、弁理士連合クラブの先生方はもちろんのこと、日本弁理士クラブ、西日本弁理士クラブの先生方にも多くご参加いただき、綺麗な海を見ながら温泉に浸かり、美味しい料理を堪能し、三派での交流を深めていただけたのではないかと思います。

本機関誌の表紙には、旅行会が開催された松島海岸の福浦橋で撮影された写真を使わせていただきました。福浦橋は、松島海岸と福浦島を結ぶ橋で、別名「出会い橋」とも呼ばれています。この二羽の鳥達も「出会い橋」で出会ったのかなと思うと、幸せな気持ちになりました。撮影いただいた小田原先生には、素敵な写真をご提供いただきましたこと、感謝申し上げます。

最後になりましたが、幹事長の鈴木知先生、担当副幹事長の奥川勝利先生、企画委員会の皆様（委員長の小國泰弘先生、委員の吉村俊一先生、絹谷晴久先生、加藤和孝先生、小田原敬一先生、高井智之先生）には、原稿依頼から校正まで、多大なるご協力をいただきました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

（企画副委員長　横田　香澄）

弁理士連合クラブ会報
連　　合　No.29
平成31年2月28日

発　行　　弁理士連合クラブ
編　集　　弁理士連合クラブ企画委員会
制　作　　㈱文寿堂
　　Tel.03（3948）6631

弁理士連合クラブ